

<第64回日本油化学会年会>

～国際平和文化都市 広島に集い、油化学の基礎と応用
について大いに議論し、多くの知人をつくろう！～

日本油化学会第64回年会実行委員長 上野 聡



1. Welcome

第64回年会は **2026年（令和8年）9月3日(木)～5日(土)** に開催いたします。会場は、広島大学発祥の地であり、かつて本部キャンパスとして使われていた**東千田キャンパス内の「東千田未来創生センター」**（広島市中区）です。

東千田キャンパスは、戦前から旧制広島文理科大学を中心に複数の前身校が集まり、研究者と学生が行き交う“学園都市”として発展してきた地域です。1945年の原爆により甚大な被害を受けながらも、教職員と学生が焼け跡に机を並べて授業を再開したことから、ここは“フェニックス（不死鳥）の大学”の原点として語り継がれています。

今年のテーマ：**国際平和文化都市 広島に集い、油化学の基礎と応用について大いに議論し、多くの知人をつくろう！**にご賛同下さり誠にありがとうございます。今回は、前回よりも44件多い一般講演が集まり、212件で開催いたします。各分野とも、1会場で開催して関係者全員で討論頂きます。懇親会には早期期間中に登録された学生の皆さんを無料招待して企業研究者の皆さんと大いに交流していただきます。

最後になりましたが、会の運営にご賛同下さりご尽力・資金援助を賜った皆様に深く感謝いたします。

2. 重要な日程

- ・要旨の公開: 8月18日（火）
- ・寄附金等ご支援のお願い: 本誌掲載
- ・ランチョンセミナー お弁当の申し込み: 先着順で所定数に達したら締切ります（本誌掲載）。
- ・託児申し込み: 先着順で所定数に達したら締切ります（本誌掲載）。

問い合わせ先: 2026hiroshima@jocs.jp



第64回日本油化学会年会

The 64th Annual Meeting of the Japan Oil Chemists' Society

2026年 **9**月**3**日 木～**5**日 土

テーマ

国際平和文化都市 広島に集い、油化学の基礎と応用
について大いに議論し、多くの知人をつくろう！

会場

広島大学 東千田キャンパス

3. 第64回年会へのご支援のお願い

- 1) **開催主旨** この年会は、当学会が年に1回開催する最大の学術会議です。産官学から約600名の会員が参加し、動植物由来の油脂に関する最新の研究成果を基に、日常生活を支える食品、医薬品、化粧品、洗剤等に応用して人々の生活を豊かにする価値へと繋げるための討論を行います。

本年は、来年開催の国際会議WCOS 2027へのご支援のお願いと重なり、支援金の集まりが目標を下回って苦戦しています。皆さまのご協力を賜りたくお願いいたします。

ご支援くださる皆様を、任意で懇親会にご招待し、未来を担う学生参加者と交流を深めていただこうと考えています。

2) ご支援をお願いしたい項目

- a) **ご寄付** 1口5万円（不課税）で寄付を募ります。ご寄付の主旨に近い項目に寄付の口数を記入し、合計口数と金額をお知らせください。ご寄付1口につき1名を年会と懇親会にご招待いたします。

- b) **展示ブース** 1展150,000円（税込み）にて募集いたします。展示は、人通りがある年会受付から討論会場までに設置頂きます。展示ブース1口につき2名を年会と懇親会にご招待いたします。※誠に恐縮ですが、展示品等の運搬費用等についてはご負担をお願いします。

ブース仕様

- ・基本設備：社名板／展示机（講義用机）／パネル（幅900×高2,100mm）2枚／椅子2脚／白布使用。電力：原則として単相100V・15A（1,500W 以内）。
- ・ブース寸法：幅1,800mm／奥行900mm。
- ・設営日・撤去日：設営日9/2(水)16:00以降、撤去日9/5(土)16:00以降

c) バナー 広告

1口55,000円（税込み）にて募集し、年会のwebsiteにバナー 広告を掲載いたします。
募集期間 8月20日(木)まで。

3) 申込み・問い合わせ先

年会website (<https://x.gd/KI7sq>) から申込み用紙をダウンロード頂き、ご支援内容を記載の上、下記アドレスへお送りください。申込書が届き次第、請求書をお送りします。

(公社) 日本油化学会 事務局 金子行裕

E-mail : 2026hiroshima@jocs.jp

※ご不明の点はご遠慮なくお尋ねください03-3271-7463。

4) 振込口座

ご請求書が届きましたら下記口座にお振込みください。

【銀行名・支店名】 三菱UFJ銀行八重洲通支店（店番022）

【預金種目・口座番号】 普通預金 0506603

【名義】 公益社団法人 日本油化学会（コウエキシャダンホウジン ニホンユカガクカイ）

ご支援くださった皆様へ感謝し、年会会場とwebsiteに御社ロゴを掲載して参加者にお知らせしたいと存じます。

4. 託児の申し込み

年会参加に託児が必要な方は **8/20(木) 17時まで**にお申込み下さい。定員に達し次第締め切らせて頂きます。

- ・受付日時 9/3 8:30～19:00、9/4 8:30～18:30、9/5 8:30～16:30
- ・場 所 討論を行う未来創生センター内のミーティングルーム
- ・費 用 無料（学会にて負担）
- ・受 付 右QRコード<<https://x.gd/7tKD6>>
- ・昼食は各自でご用意ください。

※お申し込み後、託児業者から詳細について直接連絡がございます。

※年会の参加登録がない方は対象外とします。



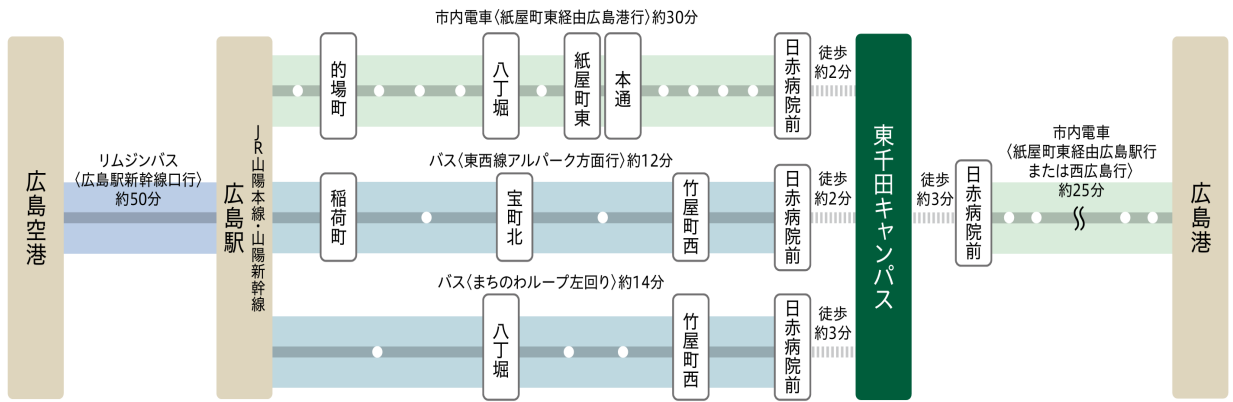
5. アクセス・会場案内

年会会場：広島大学 東千田キャンパス 未来創生センター
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89

懇親会場：グランドプリンスホテル広島（9/4市民講座終了後に専用バスで移動）
〒734-8543 広島市南区元宇品町23-1



●JR広島駅、広島空港からの東千田キャンパスへのアクセス



6. プログラム

Date	3-Sep				
会場名	S会場 M棟401&402 (300名)	A会場 M棟201&202 (153名)	B会場 M棟304、303サテライト (150名、138名)	ポスター M棟1-3F 踊り場	展示会場 S会場の前
カテゴリー	コロイド界面 & 特別講演	オレオマテリアル	油脂		
8:30	受付2F エレベーターホール				
9:00	Session3-1	Session1-1	Session2-1		
10:00	一般口頭 OP60-69 (発表10分質疑4分)	OP01-10	OP16-27		
11:00					
12:00	弁当配布 30分				
13:00	産学官連携シンポジウム SY01 (株)コーセー 帯金駿氏 SY02 第一工業製薬(株) 大西海斗氏 SY03 Noster(株) 富本千晶氏 休憩10分 SY04 京都大学 松宮健太郎氏 SY05大阪産業技術研究所 山内朝夫氏 ランチョン250食 (発表20分質疑10分) 展示30分 休憩15分			一般ポスター PP01-110 展示	展示
14:00					
15:00					
16:00		Session1-1	Session2-2		
17:00		OM01 オレオマテリアル賞 大八木伸 氏			
18:00	OP70-75	OP11-15	OP28-37		
19:00					
20:00					

Date	4-Sep					5-Sep						
会場名	S会場 M棟401&402 (300名)	A会場 M棟201&202 (153名)	B会場 M棟304、303サテライト (150名、138名)	ポスター M棟1-3F 踊り場	展示会場 S会場の前	S会場 M棟401&402 (300名)	B会場 M棟304、303 (150名、138名)	ポスター M棟1-3F 踊り場	展示会場 S会場の前			
カテゴリー	界面 & 特別講演		バイオ	油脂		界面 & 特別講演		油脂				
8:30												
9:00	Session3-3		Session4-1		PP01-110 展示	第27回 油脂技術 優秀論文 受賞講演会 主催 (一財) 油脂工業会館 Zoom配信		PP01-110 展示	ポスター 会場に 移動し パネル展示			
10:00	OP76-85		SL05 渡邊研志氏	Session2-3								
11:00			OP98-102	OP38-47								
12:00	弁当配布 30分		弁当配布 20分									
13:00	界面科学部会 SY08 松原弘樹氏 ランチョン100食		ライフサイエンス・ 産業技術部会 SY06 永井利治氏 SY07 フェロー 池田郁男氏 ランチョン200食 Zoom配信									
14:00	休憩15分 Session3-4		休憩10分 Session2-4									
15:00	OP86-92		OP48-52									
16:00	休憩20分 AL01 進歩賞 松尾一貴氏											
17:00	AL02 学会賞 仲川清隆氏 Zoom配信											
18:00	休憩10分 PL01市民講座 フェロー 佐藤清隆氏 Zoom配信											
19:00	懇親会: グランドプリンスホテル広島											
20:00												

会場周辺の飲食店情報

9/3, 4ランションの無料弁当、9/5有料弁当の申し込みはp 3記載のQRコードから入って予約下さい。学食は9/5(土)はお休みです。
会場内の飲食持ち込みは可です。



<特別講演1>

(ランチョン) 第4回 産学官連携シンポジウム

オーガナイザ：柿澤 恭史（ライオン株式会社）

9/3 S会場

講演 12:30～15:15

展示会15:15～15:45

<開催趣旨>

日本油化学会は、アカデミアと企業の研究者が協力して基礎から応用まで幅広い研究を展開する学会です。この協力体制をさらに強化するため、産学連携シンポジウムを開催いたします。

現在、企業では製品ライフサイクルの短期化や消費者ニーズの多様化が進む中、従来の自前研究には限界が出てきており、オープンイノベーションの重要性がますます高まっています。一方、大学では研究費の削減や教育課題の多様化により、企業との連携の必要性が注目されています。このような背景の中で、産学の境界を越えた協力が新たな知識と技術を生み出す鍵となってきました。

本シンポジウムでは、企業の研究者からは具体的な研究ニーズや求める人材像をご紹介いただき、大学の研究者からは最新の研究シーズや教育方針についてお話しいただきます。また、未来を担う学生の皆さんにもぜひご参加いただき、学術と産業の融合を討論して、交流を深める絶好の機会としてご活用頂きたいと存じます。皆様とともに新たな可能性を追求する場となるよう、心より楽しみにしております！

全ランチョンセミナーは、たくさんの方にご参加いただくために、**ご支援企業様と学会から昼食250食を先着順でご提供します。昼食をご希望の方は、8/17(月)までにQRコードから事前登録をください。引換券をお送りします。**



無料お弁当の申込み

<<https://x.gd/Hqgmd>>

<講演>

12:30～12:35 ごあいさつ 柿澤 恭史（ライオン株式会社）

SY01 12:35～13:05 司会 柿澤 恭史（ライオン株式会社）

マテリアルズインフォマティクスによる化粧品開発と製品化事例

帯金 駿 氏

（株式会社コーセー 研究所先端技術研究室 データサイエンティスト）

近年、情報工学の発展により、様々な分野との融合が進み、その代表例であるマテリアルズインフォマティクス（MI）の活用が急速に広がっています。株式会社コーセーでは、その取り組みの一環として、量子コンピュータを活用した自動処方生成アルゴリズムを開発しました。本技術では、物性パラメータを活用して化粧品の機能を数理的に表現し、評価指標を構築、データを整備した上で、膨大な候補の中から有望な処方を探査します。最終的にはクレンジングオイルとして製品化・市場へ展開されています。本講演では、研究から製品化までのプロセスを紹介するとともに、メーカーにおけるMIの実用化の考え方と今後の可能性について紹介します。



SY02 13:05～13:35 司会 永尾 寿浩（（地独）大阪産業技術研究所）

第一工業製薬株式会社のラボラトリーオートメーションの取り組み

大西 海斗 氏

（第一工業製薬株式会社 京都中央研究所 コーポレート研究部 分析研究開発グループ）

第一工業製薬株式会社（DKS）は、界面活性剤をはじめとする化学製品の開発・製造に加え、消臭剤NIOCANなどの特徴的なヘルスケア製品を展開している。本発表では、当社の事業概要を紹介するとともに、研究開発の効率化を目的として推進しているラボラトリーオートメーション（LA）の取り組みについて報告する。人協働ロボットを活用し、電池の内部抵抗測定、粉体の秤量、樹脂片の誘電率測定、試料の溶解状態を自動判別するシステムを構築した事例を紹介するほか、OHV測定の自動前処理システムの構築とその効果について説明する。さらに、産学連携による技術革新を見据え、分析自動化から自律化へ向けた今後の展望について紹介する。



SY03 13:35～14:05 司会 永尾 寿浩 ((地独)大阪産業技術研究所)

腸内細菌によるリノール酸代謝研究と代謝物実用化への展開

富本 千晶 氏

(Noster株式会社 R&D本部 研究部 マイクロバイオームグループ)

Noster株式会社は、「腸内菌叢と生命をつなぐ」をビジョンとし、腸内細菌機能の解明と微生物創薬の実現を目指しています。特に腸内細菌が産生する脂質代謝物に着目し、腸内細菌によるリノール酸代謝経路が解明されて以降、15年以上にわたり、大学・研究機関との共同研究を通じて、作用機序の解明から有用性評価、製造技術の開発、実用化まで一貫した研究開発を進めてきました。中でもリノール酸由来腸内細菌脂質代謝物HYAについては、世界で初めて商用生産を実現しています。本講演では、当社の研究開発や大学との共同研究を通じて得られた知見を紹介するとともに、腸内細菌由来脂質代謝物研究の可能性と今後の展望についてご紹介します。



休憩10分

SY04 14:15～14:45 司会 小泉 晴比古 (広島大学)

亜臨界状態の加圧熱水が生み出す美味しさと健康

松宮 健太郎 氏

(京都大学大学院 農学研究科 食品生物科学専攻 農産製造学分野)

水を加温・加圧して得られる亜臨界水は、イオン積が大きく比誘電率が低いため、常温常圧の水とは異なる成分溶出や反応を引き起こす。講演者はメーカーとの共同研究を通じ、これを新たな調理加工技術として研究している。本講演ではまず、多様な食材を亜臨界水で個別に処理し、嗜好性の変化と化学的要因を評価するボトムアップ型のアプローチと結果を紹介する。続いて、物性改変効果の大きかった白米・玄米への応用を取り上げる。玄米では物性を広く制御できる一方、調理強度を上げると脂質酸化由来のヘキサナールなどが増え不快臭が強まったが、昆布だしとの同時炊飯で低減できることを見出した。本技術を複雑系へ展開する設計思想を議論したい。



SY05 14:45～15:15 司会 吉田 裕治 (第一工業製薬株式会社)

ルテインを利用した食感改良剤 ～公設試験研究機関と民間企業の連携事例～

*山内 朝夫氏¹, 千葉 啓太氏², 渡辺 嘉氏¹, 伊東 利博氏², 平野 春香氏²

(1 (地独)大阪産業技術研究所, 2 日油株式会社)

食感改良剤の開発・製品化において、作用メカニズムを明らかにし、改良効果を比較・数値化できれば、製品に対する客観性や信頼性が高くなるだけでなく付加価値もつく。これには科学的な知見と評価を駆使することになるが時間と労力がかかる。当研究所は、このような企業の開発を効率良く進める一助として日々努力している。

今回、日油株式会社が製品化した植物由来のルテイン製剤を一例に紹介したい。当研究所は、脂溶性のルテインがタンパク質分子内の疎水領域に作用することを見出し、グルテンタンパク質の網目構造が変化する様子を視覚化・定量化できた。この知見を物性測定の結果に落とし込むことで、パンや麺の食感改良に活用されている。



本講演会場にて、各講演企業と大学から展示ブースの出展がございます。講演後の意見交換の場として交流を深めていただきたく、お立ち寄りください。

学生の皆さんには、就職のために会社の雰囲気を知る良い機会になると思います。企業の皆様には、大学研究室の強みを知り、有望な人材確保の機会として、ご活用いただきたく存じます。

<特別講演2>

Select Lectures 受賞講演

年会実行委員長 上野 聡

この年会で皆さんと討論したい斬新で優れた研究成果5件を選考しました。大いに討論し、未来につながるきっかけ生まれることを期待しています。

Session 1 Oleo materials and nanotechnologies

9/3 16:00~16:30 A会場

SL01 環境低負荷な光反応を利用した着色低減技術の開発と衣類漂白への展開

*菅原 知紘¹, 米田 久成² (1 旭化成株式会社 化学・プロセス研究所, 2 旭化成株式会社 基盤技術研究所)



Session 2 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

9/3 15:30~16:00 B会場

SL02 飽和脂肪酸の酸化による 2 アルカノンおよびラクトン生成 経路の解明

*青柳 寛司¹, 井阪 大輔¹, 加藤 俊治², 乙木 百合香², 上原 秀隆¹, 仲川 清隆² (1 日清オイリオグループ 株式会社技術本部, 2 東北大学大学院農学研究科)



9/3 16:00~16:30 B会場

SL03 食用昆虫に含まれる機能性脂溶性成分と脂質代謝改善作用

*落合 優¹, 高橋 侑女¹, 城内 文吾² (1 北里大学獣医学部, 2 長崎県立大学看護栄養学部)



Session 3 Colloid & interface science, surfactants, detergents and cleaning

9/3 16:00~16:30 S会場

SL04 両親媒性ポリマーエステル重合度の違いに着目した抱水メカニズムの解明

*按田 侑子^{1, 2}, 花田 奈穂子¹, 吉岡 快¹, 孟 凡², 斎田 利典¹, 大山 慶一¹, 荒井 規允² (1 日清オイリオグループ株式会社, 2 慶應義塾大学大学院理工学研究科)



Session 4 Biotechnology

9/4 9:30~10:00 A会場

SL05 多機能型β-カロテン合成酵素の機能改変による希少カロテノイド生産への応用

*渡邊 研志, 橋間 友亮, 秋 庸裕 (広島大学大学院統合生命科学研究科)



<特別講演3> 専門部会シンポジウム

副会長 企画・部会統括委員長 清水将夫（花王株式会社）

専門部会では、アカデミアと企業の研究者が一緒になって、各専門分野のトレンドや未解決課題に取り組んでいます。大学が有する最先端の知と、産業界が直面する技術ニーズが直接交差するプラットフォームである専門部会が、研究現場のリアルな知見を共有し、皆様と議論を交わすための企画を用意いたしました。

(1) オレオマテリアル部会 9/3 16:30~17:00 A会場

<開催趣旨> 部会長 伴野 太祐（慶應義塾大学）

当部会では、新材料創製に関する技術開発・研究開発や環境問題等において優れた業績をあげた部会員を奨励するためにオレオマテリア賞を授与しています。直近三年の、論文・特許・開発品を評価し、今回は、大八木氏を表彰することとしました。

◆OM01 油脂存在下における塩化ベンザルコニウム殺菌力の低下と洗浄剤処方最適化

大八木 伸 氏（セツ株式会社研究開発部、（一社）食品微生物科学協会）

<受賞理由>

大八木氏は、油が存在する条件下に、塩化ベンザルコニウムを配合した洗浄剤の殺菌効果が低下するという課題に着目し、高い洗浄・殺菌性能を両立する新規洗浄剤の開発に成功しました。本成果は食品工場における衛生管理の向上に大きく寄与するものであり、さらに社会実装にも至っていることから、新規性・実用性・学術的価値の観点から高く評価しました。



(2) (ランチョン) 界面科学部会 9/4 12:00~13:00 S会場

<開催趣旨> 部会長 神戸 慎哉（東亜合成 株式会社）

界面は、分子・原子といったナノレベルから地球・宇宙といったマクロなレベルまで、多様な現象に関与しています。また、環境や生体にやさしい材料の創製や、高付加価値を有する新規材料の創製にも寄与するなど、界面科学の果たす役割はますます重要になっています。なかでも、界面活性剤が形成する吸着膜の状態を捉え、制御することは、乳化、分散、洗浄など多様な機能の発現に直結する重要な課題です。

本シンポジウムでは、界面活性剤が油水界面に形成する吸着膜に着目し、その状態変化と乳化物性との関係について、最新の研究成果をご講演いただきます。界面活性剤の吸着膜は、温度や濃度などの条件に応じて構造や物性を変化させますが、その挙動を分子レベルで明らかにすることは、安定なエマルジョンの設計や機能性材料の開発において重要です。

界面活性剤の選択や処方設計は、特に企業現場では経験知に支えられてきた面もありますが、界面における分子のふるまいを理解することで、理論に基づく材料設計や機能制御への展開が期待されます。界面科学部会では、産官学の垣根を越えて、界面に関わる現象を学術的かつ実学的に発展させることを目指しています。本シンポジウムを通じて、基礎的な界面理解と実用技術をつなぐ新たな可能性を考える機会とします。

お弁当の申し込みは、産学官連携シンポジウムのお弁当申し込みサイトと共通です。

<講演>

◆SY08 界面活性剤吸着膜の相転移とその乳化物性との相関

松原 弘樹 氏（広島大学大学院 先進理工系科学研究科）



界面活性剤の吸着膜は、温度や濃度の変化に応じて相転移を示し、界面物性の不連続な変化を利用した機能発現が期待されている。しかし一般的な界面活性剤では、親水基間の静電反発や水和反発により、分子密度の高い凝縮膜への相転移は困難であった。講演者は、市販のイオン性界面活性剤に直鎖アルカンまたは直鎖アルコールを混合する手法により、親水基間の反発を緩和しつつ炭化水素鎖密度を向上させた混合凝縮膜の形成を実現した。界面張力測定、エリプソメトリー、X線反射率測定および中性子散乱測定を用いて、界面での分子の混合比や鎖長選択性、構造特性を明らかにするとともに、室温付近での吸着膜相転移の制御にも成功している。本講演では、この混合凝縮膜を用いて経時安定性に優れたO/W型エマルジョンを調製可能であること、界面活性を有する油分存在下においても膜内での最適な分子充填に基づく選択的吸着が生じることなど、講演者の研究例をもとに吸着膜相転移と乳化物性との相関についても紹介したい。

部会長 永井 利治 (東京工科大学)

<開催趣旨>

本部会ではこれまで、脂質の成分分析から、おいしさ、安全性、栄養、生産プロセスまで多岐にわたる活動を展開しております。この度、加工油脂栄養研究会が加わり、菅野道廣先生、池田郁男先生を中心として、30年以上の長きにわたり加工油脂の栄養学的な発展に寄与してこられた歴史ある研究会です。このたび、同研究会が培ってきた豊かな知見と伝統を継承し、さらなる発展を目指すべく、令和8年度より日本油化学会 ライフサイエンス・産業技術部会へと統合し、新たな一歩を踏み出すこととなりました。

今後は加工油脂栄養研究会の専門性を融合させることで、より多角的な視点から脂質科学の社会実装と学術振興に取り組んでまいります。

本シンポジウムは、この新体制のスタートを記念して開催いたします。また、これまで池田先生が会員向けに提供されていた「トランス脂肪酸と加工油脂関連情報の最新知見」は、本年4月より『オレオサイエンス』誌へ定期掲載される運びとなりました。本会が、油脂研究の新たなプラットフォームとして皆様の交流と発展の場となることを祈念しております。

・お弁当の申し込みは、産学官連携シンポジウムのお弁当申し込みサイトと共通です。

・年会に来られない方は、Zoomの同時配信をご利用いただけます。
事前登録をお願いいたします。



<https://x.gd/L4oAd>

<講演>

◆SY06 食用油脂中に含まれるアセチル基含有トリアシルグリセロール



永井 利治 氏 (東京工科大学)

主な食用油脂は炭素数16~18の脂肪酸からなるトリアシルグリセロール (TAG) が主成分である。油脂中のTAG組成は長年多くの研究者により分析されているが、LC/MSで精製キャノーラ油の主要なTAGが溶出していない領域を詳細に分析したところ、アセチル基含むTAG (AcTAG) が僅かに検出された。このAcTAGはキャノーラ油以外の食用油脂中にも広く存在しており、酢酸以外のAcTAGを構成する脂肪酸は、その油脂の脂肪酸組成に依存していた。その後、油脂の加水分解後、AcTAGのアセチル基を酢酸としてHPLCで定量する方法を開発し、キャノーラ油などの食用油脂を分析したところ、AcTAGの含有量に応じた量の酢酸が検出された。本講演では、食用油脂中のAcTAGの発見と分析法開発の経緯を紹介する。

◆SY07 トランス脂肪酸に関する最近の話題



日本油化学会フェロー 池田 郁男 氏 (東北大学 名誉教授)

トランス脂肪酸TFAは工業型のiTFAと反芻動物型のrTFAに分かれる。iTFAは部分水素添加油に含まれ、rTFAは反芻動物由来食品に含まれる。部分水素添加油は20世紀初頭に開発され利用が開始された。およそ70年前に飽和脂肪酸が心血管疾患に悪影響を及ぼす可能性が指摘されるようになり、部分水素添加油の利用が推奨され、世界的にiTFAの摂取量が増加していったと考えられる。iTFAの冠動脈性心疾患発症リスクが広く認識されるようになったのは1990年代になってからであり、その後多くの疾病の発症に関わる可能性が明らかとなってきた。一方、rTFAはiTFAほどの悪影響はないとされるが、必ずしも無罪が確定しているわけではなく、更なる検証が必要とされる。本講演では、TFAの現在地と最近の重要な文献情報を紹介する。

<特別講演4> 学会賞等の受賞講演

会長 後藤 直宏 (東京海洋大学)

学会賞は油化学または油化学工業に顕著な功績のあった研究成果に授与する当学会で最も権威のある賞です。工業技術賞は油化学工業に関連する顕著な技術成果に授与し、そして進歩賞は若手の優秀な研究成果に授与します。本講演は、年会登録者以外の方も無料で視聴いただけます。Zoomの同時配信をご利用ください。希望者は事前登録してください。

ご質問、応募は、8月31日までに事務局金子 (y-kaneko@jocs.jp) へ。



<https://x.gd/I1lDa>

9/4 15:20～15:50 S会場

AL01 進歩賞 高含気かつ安定なオレオフォームの創製

松尾 一貴氏 (プレミアアンチエイジング株式会社)

<受賞理由> 本研究は、不安定さゆえに冷蔵保管が必須だった「オレオフォーム」を、常温で可能にする成果です。

従来、油脂の泡は気泡の粗大化やオイル漏れが避けられず、実用化が困難でしたが、特定の油脂（トリベヘノイルグリセロール）に独自の温度制御（急冷と昇温）を施す技術を開発しました。これにより、結晶が泡を包み込む安定化効果を油脂系で実現し、界面活性剤や水を使わずに、20℃で30日間の安定保存と従来比1.5倍の含気率300%を初めて両立させました。

この「脱冷蔵」を可能にする技術は、物流のエネルギー削減に直結し、また、低刺激な化粧品や低カロリー食品の創製を加速させ、持続可能な社会の実現に大きく貢献すると可能性を持つと考え、進歩賞を授与することとしました。



9/4 15:50～16:50 S会場

AL02 学会賞 過酸化脂質の異性体解析： 脂質酸化の全貌解明と最適制御を目指して

仲川 清隆氏 (東北大学)

<受賞理由> 本研究は、長年の難題であった脂質酸化の複雑な機構を「異性体レベル」で解明した、極めて独創性の高い業績です。

評価のポイントは、測定系へのナトリウム添加という独自のブレイクスルーにより、これまで困難だった酸化部位の特定を精密化した分析技術の確立にあります。これにより「脂質がどのように酸化されたか」の視覚化に成功しました。さらに、膨大な生成経路を体系化・マップ化した点は、油化学の理論構築において群を抜いて優秀と言えます。

その知見を基に「酸化の最適制御」という実用的解決策を提示したことは、食の安全や疾病予防への波及効果も大きく、学会賞に相応しい卓越した成果であると高く評価しました。



＜特別講演5＞

年会実行委員長 上野 聡

本講演は、年会登録者以外の方も無料で視聴いただけます。Zoomの同時配信をご利用ください。
特別講演4と同じZoomの事前登録で視聴いただけます。

9/4 17:00～18:00 S会場

PL01 市民講座 **チョコレートがおいしいのは油でできているから**

日本油化学会フェロー 佐藤 清隆 氏

(広島大学名誉教授)



チ△：ねえねえ、岡〇ら、この中でチョコレートが好きなステキな大人って誰？

岡〇：では、甘いものに目がないわたくしが・・・

チ△：同じように甘いお菓子なのに、飴は口に入れてもなかなかとけないけれど、チョコレートがスツととけるのは、なんで？

岡〇：エーっと？？そういえば・・・(絶句)

チ△：ボーっと生きてんじゃねーよ！

ナレーション：チョコレートがなぜスツととけるかも知らずに、ノホホンと生きている日本人のなんと多いことか。しかし、チ△ちゃんは知っています。(太鼓がドドン)

チ△：チョコレートを口に入れるとスツととけるのは、油でできているから！

人気テレビ番組を無断拝借して恐縮であるが、もしこのテーマで番組を作るのであれば、こんな出だしになる。また解説者は、「さすがチ△ちゃん。チョコレートがスツととける秘密を知っているなんて、さては、名前をチョコに変えるつもりかな？」と言うであろう。

いうまでもなく、チョコレートのあのおいしいくちどけの秘密は、それが油でできていることにある。

飴は、ガラス、あるいは結晶状態の砂糖でできているが、口の中で唾液へ溶解することでおいしさが発現する。これに対してチョコレートは、砂糖や粉ミルクを油の結晶が覆っていて、口中温度で油の結晶が融解し、その中に包含されている砂糖などが唾液と混ざることでおいしさが生まれる。すなわち、前者は溶解、後者は融解という物理反応の違いがあり、融解は溶解よりはるかに速い。

チョコレートが油でできていることによって、そのおいしさをいろいろな角度で解き明かすことができる。

まず、カカオ豆中の油を含めたほとんどのチョコレート油脂結晶の融点は、テンパリングなどで体温直下の約 32℃に設定され、せん断力などで油脂結晶を数ミクロン以下の微細な粒子にしているの、口中で速やかに融解する。それだけでなく、油脂結晶の融解熱も大きいので、とけつつあるチョコレートに接する舌や口蓋部分の温度が約 2℃低下して、清涼感が生まれる。

さらに「油と水は混ざらない」ことが、チョコレートの味わいをさらに多彩にしている。たとえば、イチゴ味のチョコレートはホワイトチョコレートにイチゴの粉末を加えて作成するが、水溶性のイチゴ粉末が油に溶けずに、微粒子として油の結晶の中に分散しているため、深みのある味となる。さらにウィスキーボンボンのように、水溶性の中身をチョコレートの殻で包み込んだ製品ができるのは、油が水をはじくからである。このように、チョコレートには「水溶性と油溶性の素材の持つ味と香りの掛け算」によるマジックが可能となり、おいしさに無限の可能性が生まれる。

最後に、チョコレートの口どけは、チョコレートの原料であるカカオ豆とカカオの木の発祥の地と関係している。

カカオ豆の中では水分を除くと油が半分を占めているが、冷えてその油が固まると発芽できない。その限界温度は約 16℃なので、カカオが自生できるのは熱帯雨林だけである。ところが、地球は何度も氷河期を繰り返したが、その都度、カカオは南米のアマゾン川源流域でしか生き残らなかったの、そこがカカオの発祥の地となった。最終氷河期が終わり、カカオが再び生育範囲を広げた約 1 万 5 千年前に、人類が南米に到達してカカオに遭遇した。

チョコレートを口の中に入れるととけ、冷やしたら固まること、カカオが氷河期をアマゾン川源流域で生き残ったことが直結するという、偶然と必然が織りなす壮大なロマンが生まれたのである。

<特別講演6・同時開催>

第27回 油脂技術優秀論文受賞講演会

一般財団法人油脂工業会館

令和7年度油脂優秀論文（油脂技術論文の部）受賞者ならびに研究助成者による講演会を下記のとおり開催いたします（参加費無料）。

聴講をご希望の方は、下記QRコードより事前登録をお願いいたします。現地での対面聴講のほか、Zoomによる同時配信も実施いたします。

主 催 一般財団法人油脂工業会館
日 時 **令和8年9月5日（土）8：30～11：30**
場 所 広島大学 東千田キャンパス 未来創生館4F **S会場**
〒730-0053 広島県広島市中区東千田町一丁目1番89号
進 行 一般財団法人油脂工業会館 事務局



事前登録 <<https://x.gd/6Pizq>>

〔開会の挨拶〕

8：30～8：35

一般財団法人油脂工業会館

理事長 濱 逸夫

〔油脂技術論文部門〕

8：35～9：00

二成分溶媒における蒸発誘起によるTiO₂ナノ粒子の凝集状態から分散状態への切り替え
株式会社資生堂

福原 隆志 氏

[Langmuir 2024, 40, 22424-22432](#)

9：00～9：25

アニオン界面活性剤 C18バイオIOSのCaCl₂水溶液中での会合挙動：
ベシクルと支持二重膜の形成

花王株式会社

菅原 規 氏

[Langmuir 2025, 40, 22424-22432](#)

9：25～9：50

台所用洗剤の泡に関する研究：非イオン界面活性剤の添加が起泡に与える影響
ライオン株式会社

浅野 ほたか 氏

[Journal of Oleo Science, 74\(4\),377-384\(2025\)](#)

〔研究助成部門〕

10：05～10：30

光応答性ジェミニ型カチオン界面活性剤を用いた泡沫の制御
東京理科大学

矢田 詩歩 氏

10：30～10：55

中鎖脂肪酸が腸管発達と疾患リスクに与える影響の解明
京都大学大学院

西田 朱里 氏

10：55～11：20

線維芽細胞増殖因子に着目した食事性スフィンゴ脂質による
コレステロール代謝機構の解明

東洋大学

杉本 光輝 氏

〔日本油化学会会長挨拶〕

11：20～11：30

公益社団法人日本油化学会

会長 後藤 直宏 氏

11：30

終了

<口頭発表>

Session 1-1 Oleo materials and nanotechnologies

9/3 9:30-12:00 A会場

- OP01 **複数のワックスを用いたオイルワックスゲルにおいてオイルの極性が構造化学動と力学的強度に及ぼす影響**
*手島涼太, 高橋愛永, 寺林剛, 渡辺英明, 高橋遥, 大塚聡, 小倉英史(ライオン株式会社)
- OP02 **TDAを用いた二次元回折像の形状解析手法**
*帯金駿, 鈴木美香, 黒木純子 (株式会社コーセー)
- OP03 **疎水性表面処理金属酸化物微粒子分散型多相系サンスクリーン剤の調製条件が塗布層の構造および紫外線遮蔽能に及ぼす影響**
*森川万寛¹, 伴野太祐¹, 三園武士², 宮本敬子², 朝倉浩一¹ (1 慶應義塾大学, 2 日光ケミカルズ株式会社)
- OP04 **構造を制御した環状テトラグリセロールの合成**
*佐伯優有¹, 中島範行¹, 濱田昌弘^{1,2} (1 富山県立大学工学部医薬品工学科, 2 富山県立大学生物・医薬品工学研究センター)
- OP05 **リンゴ酸ジイソステアリル構造異性体の粘度挙動に関する分子論的研究**
*按田侑子^{1,2}, 孟凡², 花田奈穂子¹, 小山裕彰¹, 大山慶一¹, 荒井規允² (1 日清オイリオグループ株式会社, 2 慶應義塾大学大学院理工学研究科)
- OP06 **油脂中水分子の加水分解反応性に関する分子シミュレーション研究**
*北村勇稀¹, 須之内愛², 井阪大輔², 辻野祥伍², 渡辺隆英², 藤本和士³ (1 関西大学大学院理工学研究科, 2 日清オイリオグループ株式会社, 3 関西大学化学生命工学部)
- OP07 **Formation of Hierarchical Supramolecular Microstructures from 6-O-Alkylated α -Cyclodextrin and Their Application to the Selective Extraction of Long-chain Unsaturated Fatty Acid Esters**
*Haruya Ishida¹, Shuhei Miyakawa², Hajime Shigemitsu³, Kaori Fukuzawa², and Toshiyuki Kida¹ (1 Department of Applied Chemistry, Graduate School of Engineering, The University of Osaka, 2 Graduate School of Pharmaceutical Science, The University of Osaka, 3 National Institute for Materials Science (NIMS))
- OP08 **光誘起構造転移を介したグルタチオンの取り込みによるベシクル形態変化**
*串島大智, 久保島健太, 朝倉浩一, 伴野太祐 (慶應義塾大学理工学部応用化学科)
- OP09 **両親媒性クマリン修飾ポリマーの光二量化架橋反応によるクラスター化誘起発光材料の創出**
*佐々木良健¹, 村岡雅弘², 静間基博^{2,3}, 川野真太郎^{2,3} (1 大阪工業大学大学院工学研究科, 2 大阪工業大学工学部, 3 (地独)大阪産業技術研究所)
- OP10 **膜タンパク質の単粒子解析を目指した機能化グラフェンの開発**
*藤森大志¹, 井上豪^{1,2}, 浅原時泰^{1,2} (1 大阪大学大学院薬学研究科, 2 大阪大学先導的学際研究機構)

Session 1-2 Oleo materials and nanotechnologies

9/3 16:00-18:15 A会場

- SL01 **環境低負荷な光反応を利用した着色低減技術の開発と衣類漂白への展開**
*菅原 知紘¹, 米田 久成² (1 旭化成株式会社 化学・プロセス研究所, 2 旭化成株式会社 基盤技術研究所)
- OM01 **油脂存在下における塩化ベンザルコニウム殺菌力の低下と洗浄剤処方最適化**
*大八木伸 (セツ株式会社研究開発部, (一社)食品微生物科学協会)
- OP11 **アジ化マンノシルエリスリトールリピッド含有脂質ナノ粒子の合成と標的指向型ドラッグデリバリーシステムの開発研究**
*落合萌恵花¹, 伊波美鈴¹, 板東龍一¹, 安齋樹^{2,3}, 渡辺登喜子^{2,4}, 阿曾古都美⁵, 笠原勇矢⁵, 戸嶋一敦¹, 稲葉和樹¹, 高橋大介¹ (1 慶應義塾大学大学院理工学研究科, 2 大阪大学微生物病研究所, 3 大阪大学感染症総合教育拠点, 4 大阪大学ワクチン開発拠点 先端モダリティ・DDS研究センター, 5 医薬基盤・健康・栄養研究所)
- OP12 **共焦点ラマン分光法およびX線回折を用いたDitrimethylolpropane Tetracaprylate (DTTC) の皮膚浸透性と角層ラメラ構造の評価**
*本田愛華¹, 上村柚紀子^{2,3}, 花田奈穂子³, 大山慶一³, 徳留嘉寛^{1,2,4} (1 佐賀大学大学院先進健康科学研究科, 2 佐賀大学大学院理工学研究科, 3 日清オイリオグループ, 4 佐賀大学コスメティックサイエンス学環)
- OP13 **微細藻類由来セラミドの構造多様性と産業利用への応用可能性**
*柚木恵太¹, 岡本航², 中島綾香² (1 株式会社サティス製薬, 2 株式会社ユーグレナ)
- OP14 **カチオン性およびアニオン性高分子を添加したポリマーソーム型人工組織のpH応答性**
*三輪あすか, 藤岡沙都子, 寺坂宏一, 朝倉浩一, 伴野太祐 (慶應義塾大学理工学部応用化学科)
- OP15 **親水基構造の異なる両親媒性ロフィンダイマーの分子集合体形成と光応答挙動の解析**
*出水大稀^{1,2}, 田中理紗³, 岩瀬裕希⁴, 酒井健一³, 酒井秀樹³, 伊福伸介², 吾郷万里子¹, 赤松允顕² (1 鳥取大学工学部, 2 京都大学生存圏研究所, 3 東京理科大学創域理工学部, 4 総合科学研究機構 (CROSS) 中性子科学センター)

Session 2-1 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

9/3 9:00-12:00 B会場

- OP16 **異なる種結晶が及ぼすココアバター の結晶化過程への影響の直接観察**
*中村梨都¹, 小泉晴比古¹, 山崎智也², 木村勇氣², 上野聡¹ (1 広島大学統合生命科学研究科, 2 北海道大学低温科学研究所)
- OP17 **ココアバター置換脂(CBS)/ココアバター(CB)混合系での冷却速度による初期多形転移速度の違い**
*佐藤真帆¹, 小泉晴比古¹, 路川聡², 上野聡¹ (1 広島大学大学院統合生命科学研究科, 2 東京フード(株))
- OP18 **CBSの結晶化に及ぼす外部電場の影響**
*石井愛¹, 小泉晴比古¹, 路川聡², 伊藤千智², 上野聡¹ (1 広島大学大学院統合生命科学研究科, 2 東京フード株式会社)
- OP19 **生チョコレートの乳化温度による結晶成長過程とテクスチャーの違い**
*田中誌比呂, 多田光希, 川端庸平 (酪農学園大学農食環境学群食と健康学類)
- OP20 **チョコレートの光酸化機構の解明**
*香西彩名¹, 入澤直也¹, 橋本革², 栗山雅充², 岩岡栄治², 伊藤隼哉¹, 仲川清隆¹ (1 東北大学大学院農学研究科, 2 不二製油株式会社)
- OP21 **乳化系のEPA含有油脂の酸化挙動と油脂分子のダイナミクスに及ぼす粒子径の影響**
*佐藤裕美¹, 染矢慶太¹, 仲川清隆², 小山智之³, 後藤直宏³ (1 横浜油脂工業株式会社機能性食品技術開発部, 2 東北大学大学院 農学研究科, 3 東京海洋大学海洋生命科学部食品生産科学科)
- OP22 **油脂乳化物の酸化安定性における粒子径と不飽和度の関係**
*染矢慶太¹, 佐藤裕美¹, 仲川清隆², 小山智之³, 後藤直宏³ (1 横浜油脂工業株式会社機能性食品技術開発部, 2 東北大学大学院農学研究科, 3 東京海洋大学海洋生命科学部食品生産科学科)
- OP23 **バルク系エゴマ油の酸化安定性を高めるシュガーエステルとそのメカニズムの検証**
*栗原咲希¹, 吉野智之², 山本幸弘² (1 県立広島大学大学院総合学術研究科生命システム科学専攻, 2 県立広島大学生物資源科学部地域資源開発学科)
- OP24 **キラルHPLCによるジパルミトイルグリセロールに短鎖・中鎖飽和脂肪酸が結合したトリアシルグリセロール位置・鏡像異性体の分離**
*大越桃佳, 永井利治 (東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科)
- OP25 **トリアシルグリセロールの $\alpha\beta$ 構造異性がヒドロペルオキシドの異性体構造に与える影響**
*三宅叶真¹, 楠本惟吹¹, 加藤俊治¹, 塚越詩織², 金野美紀³, 田中礼央³, 仲川清隆¹ (1 東北大学大学院・農・食品機能分析, 2 雪印メグミルク株式会社・商品開発部, 3 雪印メグミルク株式会社・ミルクサイエンス研究所)
- OP26 **米原油を特徴づける成分の簡便な同時分析法の開発—ゲル浸透クロマトグラフィーの活用—**
*松木翠¹, 澤田一恵¹, 中上拓也¹, 伊藤隼哉², 仲川清隆², 橋本博之¹ (1 築野食品工業株式会社, 2 東北大学大学院農学研究科)
- OP27 **こめ油に特徴的な γ -オリザノール分子種：生成メカニズムと食品中の含量の解明**
*澤田一恵¹, 中上拓也¹, 松木翠¹, 伊藤隼哉², 小倉由資³, 橋本博之¹, 仲川清隆² (1 築野食品工業株式会社, 2 東北大学大学院農学研究科, 3 東京大学大学院農学生命科学研究科)

Session 2-2 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

9/3 15:30-19:00 B会場

- SL02 **飽和脂肪酸の酸化による 2 アルカノンおよびラクトン生成 経路の解明**
*青柳寛司¹, 井阪大輔¹, 加藤俊治², 乙木百合香², 上原秀隆¹, 仲川清隆² (1 日清オイリオグループ 株式会社技術本部, 2 東北大学大学院農学研究科)
- SL03 **食用昆虫に含まれる機能性脂溶性成分と脂質代謝改善作用**
*落合優¹, 高橋侑女¹, 城内文吾² (1 北里大学獣医学部, 2 長崎県立大学看護栄養学部)
- OP28 **Development of Acid Value Prediction Method of Canola Oil based on Raman Spectroscopy and Partial Least Square Regression (PLSR)**
*Shafa Shofiani¹, Ren Takayanagi², Ryosuke Aoki², Yukihiro Ozaki¹ and Hidetoshi Sato¹ (1 Graduate School of Science and Technology and School of Biological and Environmental Sciences, Kwansei Gakuin University, 2 J-Oil Mills)
- OP29 **ラマン分光法による脂肪酸組成の無侵襲定量分析**
*佐藤英俊¹, Pradjna N. Paramitha¹, 岩崎啓太¹, Bibin B. Andriana¹, 乙木百合香², 楠本惟吹², 尾崎幸洋¹, 仲川清隆² (1 関西学院大学生命環境学部, 2 東北大学大学院農学研究科)
- OP30 **酸価分析試験法における指示薬の比較**
*河津裕美¹, 飯田泰浩¹, 渡辺奈津代¹, 脇本孝俊², 深澤透¹, 渡辺嘉³ (1 公益財団法人日本食品油脂検査協会, 2 金森産業株式会社, 3 地方独立行政法人大阪産業技術研究所)
- OP31 **SAFE法およびGC-TOFMSを用いたフライ食品の油種間香気比較とコーン油の特徴香気成分の探索**
*西村和也¹, 田中悠磨¹, 大庭あかね¹, 桐明純², 田中誠也³, 後藤直宏³, 吉永和明² (1 昭和産業株式会社技術センター, 2 福島大学大学院食農科学研究科, 3 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科)

- OP32 **油中のアルデヒドと揮発したアルデヒドの測定方法の評価**
*山本悠介¹, 風直樹¹, 熊西敦則¹, 伊藤隼哉², 加藤俊治², 仲川清隆² (1 植田製油株式会社, 2 東北大学大学院農学研究科食品機能分析学)
- OP33 **カルボニル価によるアルデヒドポテンシャル測定法を用いた種々の植物油脂の分析**
*山口陽平¹, 櫻井信洋², 村川謙太郎², 永井利治¹ (1 東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科, 2 月島食品工業株式会社)
- OP34 **脂肪酸組成の異なるショ糖脂肪酸エステルが油系モデルにおけるフレーバーリリースに及ぼす影響**
*陶江菜月¹, 山崎愛奈¹, 長尾真綾¹, 桐明絢¹, 菅沼百合子¹, 田中誠也², 後藤直宏², 吉永和明¹ (1 福島大学, 2 東京海洋大学)
- OP35 **LC-MS/MS を用いたラクトン一斉分析法の開発と食品分析への応用**
*谷口楓奈¹, 田中誠也¹, 桐明絢², 吉永和明², 後藤直宏¹ (1東京海洋大学)
- OP36 **SAFE法を用いたバター中ラクトン類の高効率濃縮法の開発**
*山崎愛奈¹, 西村和也², 桐明絢¹, 田中誠也³, 後藤直宏³, 吉永和明¹ (1 福島大学, 2 昭和産業株式会社技術センター, 3 東京海洋大学)
- OP37 **高温加熱で起こり得る飽和脂肪酸の酸化パーム油における飽和・不飽和脂肪酸の酸化速度比較**
*井阪大輔¹, 小原唯¹, 小田垣祐生¹, 青柳寛司¹, 加藤俊治², 乙木百合香², 仲川清隆² (1 日清オイログループ株式会社技術本部, 2 東北大学大学院農学研究科)

Session 2-3 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

9/4 9:00-11:30 B会場

- OP38 **ホタテガイ由来セラミド2-アミノエチルホスホン酸によるマウス皮膚バリア機能の維持効果は抗菌薬投与により消失する**
*東坂音羽¹, 上坂彩乃¹, 杉本光輝², 費紀遥³, 真鍋祐樹³, 菅原達也³, 村上由希⁴, 細見亮太¹, 福永健治¹ (1 関西大学化学生命工学部, 2 東洋大学食環境科学部, 3 京都大学大学院農学研究科, 4 関西医科大学医学部)
- OP39 **小麦加工食品中グルコシルセラミドの化学特性と生体利用特性**
山崎結奈, 真鍋祐樹, *菅原達也 (京都大学大学院農学研究科)
- OP40 **佐賀県嬉野温泉水による皮脂除去性評価**
*本間希^{1, 2}, 徳留嘉寛¹ (1 佐賀大学化粧品科学講座, 2 佐賀県産業振興機構佐賀県産業イノベーションセンター)
- OP41 **ホスファチジルイノシトール摂取がApoE欠損マウスにおける脂質代謝異常および血圧上昇に及ぼす影響**
*城内文吾^{1, 2}, 岩崎菜里², 岩村飛鳥¹, 樋口末菜² (1 長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科, 2 長崎県立大学大学院 地域創生研究科 人間健康科学専攻)
- OP42 **食事性ドコサヘキサエン酸の脳内リン脂質代謝シフトの解明**
*田中誠也¹, 小荒井ことは¹, 西向めぐみ², 桐明絢³, 吉永和明³, 後藤直宏¹ (1 東京海洋大学, 2 岩手大学, 3 福島大学)
- OP43 **トランス異性化はEPAおよびDHAの代謝運命を変化させる**
*小荒井萌¹, 佐々木彩¹, 俵谷理瑚¹, 桐明絢¹, 菅沼百合子¹, 田中誠也², 後藤直宏², 吉永和明¹ (1 福島大学, 2 東京海洋大学)
- OP44 **分子構造が異なるキサントフィルにおける細胞内取り込みの比較解析**
*浅野早紀¹, 別府史章², 細川雅史², 高谷直己² (1 北海道大学大学院水産科学院, 2 北海道大学大学院水産科学研究院)
- OP45 **フコキサンチン立体異性体の生体吸収性および 活性化マクロファージに対する抗炎症作用**
*斎藤綾乃¹, 細山銀二¹, 別府史章², 細川雅史², 高谷直己² (1 北海道大学大学院水産科学院, 2 北海道大学大学院水産科学研究院)
- OP46 **シス-トランス異性化によるカロテノイドおよびポリフェノールの物理化学的性質の制御と応用可能性**
*本田真己^{1, 2}, Asih Gayatri², 西村友希¹, 名古玲音¹, Antara Ghosh², 西田康宏³ (1 名城大学総合学術研究科, 2 名城大学理工学部化学教室, 3 富士化学工業株式会社LS開発本部)
- OP47 **Effects of photoisomerization of caffeic acid and chlorogenic acid on physicochemical properties and biological activities**
*Asih Gayatri, Masaki Honda (Faculty of Science & Technology, Meijo University)

Session 2-4 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

9/4 14:00-15:15 B会場

- OP48 **O/W エマルション界面の結晶化における高融点アルカンの効果**
*川端庸平¹, 田口健², 上野聡³, 佐藤清隆³ (1 酪農学園大学農食環境学群食と健康学類, 2 広島大学大学院先進理工系科学研究科, 3 広島大学大学院統合生命科学研究科)
- OP49 **Effect of Cooling Rate on the Crystallization Behavior of Wax-Based Oleogels**
*Li Yang, Haruhiko Koizumi, Satoru Ueno (Hiroshima University, Graduate School of Integrated Sciences for Life, Program of Food and AgriLife Science)
- OP50 **油脂結晶化技術を用いた新規オレオゲル化剤の開発の検討**
*中野 郁也¹, 小泉 晴比古^{1,2}, 大石 憲孝³, 木村 勇気⁴, 山崎 智也⁴, 浜本 一洋³, 上野 聡^{1,2} (1広島大学大学院統合生命科学研究科, 2 広島大学生物生産学部, 3 ミヨシ油脂株式会社, 4 北海道大学低温科学研究所)
- OP51 **Effects of Addition of 1,3-Dipalmitoyl-2-palmitoleoyl-*sn*-glycerol on the Physical Properties of Cocoa Butter and Fat Bloom of Dark Chocolate**
*Shimpei Watanabe¹, Kenji Ishiwari¹, Shinichi Yoshikawa², and Kiyotaka Sato³ (1 Research Institute for Creating the Future, Fuji Oil Co., Ltd., 2 R&D Strategy Department, Fuji Oil Co., Ltd., 3 Hiroshima University)
- OP52 **Mechanisms of Fat Bloom Retardation in Chocolate by PPOp Addition: Structural and Thermal Analyses of Binary POP/PPOp mixtures**
*Shimpei Watanabe¹, Kenji Ishiwari¹, Shinichi Yoshikawa², and Kiyotaka Sato³ (1 Research Institute for Creating the Future, Fuji Oil Co., Ltd., 2 R&D Strategy Department, Fuji Oil Co., Ltd.)

Session 2-5 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

9/5 12:00-13:45 B会場

- OP53 **NIRを用いた植物油の酸化安定性予測モデルの構築**
*北原千寛¹, 加藤俊治^{1,2}, 楠本惟吹¹, 乙木百合香¹, 青木亮輔^{1,3}, 佐野貴士³, 佐藤俊郎^{2,3}, 仲川清隆^{1,2} (1 東北大学大学院農学研究科食品機能分析学, 2 東北大学大学院農学研究科J-オイルミルズ油脂イノベーション共同研究講座, 3 株式会社J-オイルミルズ)
- OP54 **¹⁸O₂ 標識と二次酸化生成物の標品合成による脂質ヒドロペルオキシド分解経路の検証**
*山本望海¹, 加藤俊治^{1,2}, 目黒康洋³, 青木亮輔^{1,4}, 佐藤俊郎^{2,4}, 今義潤⁴, 榎本賢³, 仲川清隆^{1,2} (1 東北大学大学院農学研究科 食品機能分析学, 2 東北大学大学院農学研究科 J-オイルミルズ油脂イノベーション共同研究講座, 3 東北大学大学院農学研究科 生物有機化学, 4 株式会社J-オイルミルズ)
- OP55 **脂質酸化経路の逆解析ソフトウェアの開発**
*加藤俊治^{1,2}, 楠本惟吹², 乙木百合香², 青木亮輔^{2,3}, 佐野貴士³, 佐藤俊郎^{1,3}, 仲川清隆^{1,2} (1 東北大学大学院農学研究科J-オイルミルズ油脂イノベーション共同研究講座, 2 東北大学大学院農学研究科食品機能分析学, 3 株式会社J-オイルミルズ)
- OP56 **コーン油、キャノーラ油、およびそれらのブレンド油の保存中における酸化安定性**
*鈴木澄空¹, 西村和也², 菅沼百合子¹, 桐明純¹, 大庭あかね², 田中誠也³, 後藤直宏³, 吉永和中¹ (1 福島大学, 2 昭和産業株式会社技術センター, 3 東京海洋大学)
- OP57 **食事由来トランス脂肪酸の体内動態と動脈硬化プラークへの蓄積解析**
*吉永和中¹, 岸田青空乃², 升本早枝子¹, 桐明純¹, 田中誠也², 後藤直宏² (1 福島大学, 2 東京海洋大学)
- OP58 **オレイン酸過酸化物および二次酸化生成物の体燃焼性の解明**
*大友万杏子¹, 新谷喜野¹, 桐明純¹, 田中誠也², 後藤直宏², 吉永和中¹ (1 福島大学, 2 東京海洋大学)
- OP59 **Ca塩のフライ油劣化抑制効果**
*今田カミウ¹, 西村和也¹, 井上恵¹, 塚原祐樹¹, 山田真也¹, 安野元啓¹, 桐明純², 吉永和中² (1 昭和産業株式会社技術センター, 2 福島大学大学院食農科学研究科)

Session 3-1 Colloid and interface science, surfactant, detergent and cleaning

9/3 9:30-12:00 S会場

- OP60 **オストワルド熟成に基づくボラ型両親媒性スクアレンの自己集合ダイナミクス：エチレングリコール鎖長依存性**
*Tran Ngoc Linh¹, 大谷 凜太郎^{2,3}, 渡邊 宏臣¹, 藤田 康彦¹, 川崎政人⁴, 生長 幸之助^{2,3}, 磯田 博子^{2,3}, 有村 隆志^{2,3} (1 (国研)産総研 機能化学研究部門, 2 (国研)産総研 食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ, 3 筑波大学, 4 (国研)KEK 構造生物学研究センター)
- OP61 **TEM 直接可視化によるジカルボン酸誘導マンノシルエリスリトール脂質ベシクルの単層から秩序ある多層への構造変化**
*Tran Ngoc Linh¹, 有村 隆志², 川崎政人³, 渡邊 宏臣¹, 藤田 康彦¹ (1 (国研)産総研 機能化学研究部門, 2 (国研)産総研 食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ, 3 (国研) KEK 構造生物学研究センター)
- OP62 **油/水界面に形成したモノオレイン酸ジグリセリル膜の界面ネットワーク形成と界面粘弾性**
*山縣義文^{1,2}, 新井田萌重¹, 三井美彩³, 吉田大介³, 酒井秀樹^{2,4} (1株式会社アントンパール・ジャパン, 2 東京理科大学総合研究院, 3 日光ケミカルズ株式会社, 4 東京理科大学創域理工学部)

- OP63 **アミノ酸系界面活性剤二成分混合系の固液吸着膜構造解析**
*萬代由莉恵^{1,2}, 阿久津和宏³, 櫛部千花², 河合里紗², 安鋼¹, 高瀬修一¹, 吉村倫一² (1 コタ株式会社, 2 奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科, 3 総合科学研究機構中性子科学センター)
- OP64 **正弦運動下の力学応答波形の時系列解析によるスキんケア製品の触感特徴量探索**
*池島俊季¹, 水越興治¹, 高根澤颯太², 野々村美宗² (1 ポーラ化成工業株式会社, 2 山形大学大学院)
- OP65 **アミノ酸系界面活性剤/カチオン性セルロース複合体吸着物の硬表面上における粘弾・摩擦特性が触感へ及ぼす影響**
*加藤泰輝, 大石泉, 狩谷昭太郎, 三宅深雪, 森垣篤典, 藤原優一 (ライオン株式会社研究技術センター マテリアルサイエンス研究所)
- OP66 **コアセルベート形成を利用した食器用洗剤の水分保持効果**
*須川鮎子, 渡邊洋介, 神藤宏明, 小倉英史 (ライオン株式会社国内ビジネスユニットハウスホールド事業本部ハウスホールド事業部ハウスホールド研究所)
- OP67 **フッ化物-カルシウム-リン酸複合体の滞留挙動に与える高分子の影響**
*高林 輝, 遠藤 祐生, 須藤 慎也, 森垣 篤典, 藤原 優一 (ライオン株式会社)
- OP68 **高機能リポソームの設計に向けた塗膜物性制御 -粒子径の制御による積層構造の形成と水分閉塞機能の評価**
*安達啓太¹, 永塚豊史¹, 大石郁¹, 万仲永莉², 酒井秀樹², 土屋好司³, 中沢寛光⁴, 黒木純子¹ (1 株式会社コーサー, 2 東京理科大学創域理工学部先端化学科, 3 東京理科大学研究推進機構総合研究院, 4 帝京科学大学生命環境学部 生命科学科)
- OP69 **基板表面特性がアクネ菌バイオフィルムの洗浄に与える影響**
*半澤将希¹, 織田政紀², 高井庸子¹, 行方昌人¹, 清水健司¹, 三園武士¹ (1 日光ケミカルズ株式会社中央研究所, 2 日本ロレアル株式会社リサーチ&イノベーションセンター)

Session 3-2 Colloid and interface science, surfactant, detergent and cleaning 9/3 16:00-18:00 S会場

- SL04 **両親媒性ポリマーエステル重合度の違いに着目した抱水メカニズムの解明**
*按田侑子^{1,2}, 花田奈穂子¹, 吉岡快¹, 孟凡², 斎田利典¹, 大山慶一¹, 荒井規允² (1 日清オイログループ株式会社, 2 慶應義塾大学大学院理工学研究科)
- OP70 **非水乳化法で調製されるO/W型エマルジョンに 自己組織化構造が与える影響**
*本山拓実^{1,2}, 三園武士¹, 酒井秀樹² (1 日光ケミカルズ株式会社中央研究所, 2 東京理科大学創域理工学部先端化学科)
- OP71 **ポリグリセリン脂肪酸エステル配合クレンジングオイルの水洗性と会合状態の関係**
*平澤幸香¹, 豊島亮祐¹, 竹石友紀², 渡辺啓² (1 阪本薬品工業株式会社研究所, 2 武庫川女子大学 薬学部 健康生命薬科学科)
- OP72 **非イオン性界面活性剤ミセル中のフラレンの可溶化位置の研究**
*松岡圭介¹, 神保美空¹, 中原広道², 古賀和隆² (1 埼玉大学, 2 第一薬科大学)
- OP73 **高圧解繊セルロースとイオン性界面活性剤の混合によるエマルジョン特性への影響**
*平野綾菜, 安達志織, 鳥飼直也 (三重大学大学院理工学研究科)
- OP74 **オルガノゲル型化粧料の塗布プロセスの網羅的解析**
*佐々木 鈴華, 野々村美宗 (山形大学大学院理工学研究科化学・バイオ工学専攻)
- OP75 **ポリグリセリン- 3 ミリステートの精密合成とその界面物性**
*宇山允人¹, 辻有子¹, 上田善弘² (1 国立研究開発法人産業技術総合研究所, 2 国立研究開発法人産業技術総合研究所)

Session 3-3 Colloid and interface science, surfactant, detergent and cleaning 9/4 9:00-11:30 S会場

- OP76 **Effects of Chitosan/HPMC Gel Structure on Rebamipide-Containing Film for the Treatment of Stomatitis**
*Sayumi Yamauchi¹, Takeshi Oshizaka^{1,2}, Kenji Mori^{1,2}, Issei Takeuchi^{1,2}, and Kenji Sugibayashi^{1,2,3} (1 Department of Medical Pharmacy, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Josai International University, 2 Faculty of Pharmaceutical Sciences, Josai International University, 3 Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Josai University)
- OP77 **分散媒を緩衝系とした乳化剤フリー水中油滴型エマルジョン (Ef-O/B Em) の分散安定性に及ぼす油性ビタミン誘導体の影響**
*佐藤あゆみ¹, 中原優一², 堀田敏行², 石崎裕也¹, 酒井俊郎¹ (1 信州大学総合理工学研究科工学専攻, 2 ロート製薬株式会社)

- OP78 **界面活性剤存在下における三相乳化現象**
*宮坂佳那, 今井洋子, 豊田香緒里, 御器谷友美, 田嶋和夫 (神奈川大学三相乳化プロジェクト)
- OP79 **逆紐状ミセルを用いたSWICH乳化とその安定化メカニズム**
*中込大翔¹, 石山大翔², 伊藤聡子³, 松本善行³, 坂西裕一¹, 杉崎裕一², 山下裕司^{1,2} (1 神奈川大学大学院, 2 神奈川大学, 3 太陽化学株式会社)
- OP80 **アミノ酸系界面活性剤/コレステロール系における液体秩序 (Lo) 相の形成およびLo相分散液の評価**
*グエン ゴック ヒエン¹, 大坪桃², 杉崎裕一¹, 山下裕司¹ (1 神奈川大学大学院, 2 第一三共ヘルスケア株式会社)
- OP81 **擬似微小重力環境下におけるW/Oエマルションの合一挙動の評価**
*鈴木雄飛¹, 杉崎裕一¹, 荒川京介², 酒井健一², 酒井秀樹², 坂本一民^{1,2}, 三園武士³, 橋本悟³, 小林浩武⁴, 千葉正昭⁵, 夏井坂 誠⁶, Luigi Clistofolini⁷, 山下裕司¹ (1 神奈川大学大学院, 2 東京理科大学, 3 日光ケミカルズ株式会社, 4 SPACE CARNIVAL, 5 協和界面科学株式会社, 6 宇宙航空研究開発機構, 7 パルマ大学)
- OP82 **ファインバブル有機化学 : MSE 攪拌翼による気体関与反応と脱気の高効率化**
*坂本慶真, 佐藤浩平, 鳴海哲夫, 間瀬暢之 (静岡大学大学院総合科学技術研究科)
- OP83 **3Dプリンター製セルを用いた脂質平面膜の定量定性解析法の開発**
*岡本行広, 井上知加良 (大阪大学大学院基礎工学研究科)
- OP84 **エマルションの安定性に及ぼすウルトラファインバブルの影響**
*浅野友花¹, 荒川京介¹, 土屋好司², 永井達也³, 仁王厚志³, 酒井秀樹^{1,2}, 酒井健一^{1,2} (1 東京理科大学創域理工学部, 2 東京理科大学総合研究機構, 3 ポーラ化成工業株式会社フロンティアリサーチセンター)
- OP85 **気/水界面および油/水界面におけるリン脂質界面膜の界面レオロジー特性評価**
*喜多野莉緒¹, 土屋好司², 荒川京介², 酒井健一^{1,2}, 山縣義文³, 酒井秀樹^{1,2} (1 東京理科大学創域理工学部, 2 東京理科大学総合研究科, 3 株式会社アントンパール・ジャパン)

Session 3-4 Colloid and interface science, surfactant, detergent and cleaning

9/4 13:15-15:00 S会場

- OP86 **スフィンゴミエリンを含有したリボソーム二分子膜の透過型電子顕微鏡による構造評価**
*土屋好司¹, 實島七海², 荒川京介², 酒井健一^{1,2}, 貝瀬千尋³, 金子晃久³, 酒井秀樹^{1,2} (1 東京理科大学研究推進機構総合研究科, 2 東京理科大学創域理工学部先端化学科, 3 株式会社L.V.M.C.)
- OP87 **ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸エステル塩/ベタイン型両性界面活性剤混合系の泡沫特性および構造解析**
*松本悠汰¹, 近藤行成², 矢田詩歩² (1 東京理科大学大学院工学研究科, 2 東京理科大学工学部工業化学科)
- OP88 **ポリグリセリン系界面活性剤の重合度による泡沫特性の制御**
*高橋健¹, 福田瞳², 中村亮太², 佐藤智彦², 近藤行成³, 矢田詩歩³ (1 東京理科大学大学院工学研究科, 2 株式会社ダイセル, 3 東京理科大学工学部)
- OP89 **カチオン性ポリマー による泡性能向上効果の機構解明**
*新田雄大¹, 橋本吾郎¹, 矢田詩歩², 近藤行成² (1 東邦化学工業株式会社研究開発本部千葉研究所香粧原料研究室, 2 東京理科大学工学部工業化学科)
- OP90 **アミノ酸-糖ハイブリッド界面活性剤を添加したレシチンベシクルによるクルクミンの可溶化**
*伊藤優希, 河合里紗, 吉村倫一 (奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科)
- OP91 **多分岐鎖型アミノ酸-糖ハイブリッド界面活性剤の泡沫の構造と安定性**
*木村 菜津樹¹, 橋本吾郎², 中根千果³, 寺本健太郎³, 大森隆司³, 河合里紗¹, 吉村倫一¹ (1 奈良女子大学大学院, 2 東邦化学工業株式会社, 3 株式会社マツモト交商)
- OP92 **多分岐鎖-ポリオキシエチレン鎖-四級アンモニウム基を有する新規カチオン界面活性剤によるPFASの泡沫分離**
*一ノ瀬百萌¹, 大野正司², 好田年成², 河合里紗¹, 吉村倫一¹ (1 奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科, 2 日産化学株式会社)

Session 3-5 Colloid and interface science, surfactant, detergent and cleaning

9/5 12:30-13:45 S会場

- OP93 **pH に応答して自己駆動する油滴の運動モードを切り替える化学システム**
*中矢隼輔, 朝倉浩一, 伴野太祐 (慶應義塾大学理工学部応用化学科)
- OP94 **エステル型界面活性剤水溶液中における自己駆動する油滴からコアセルバートへの構造転移**
*高崎真衣, 朝倉浩一, 伴野太祐 (慶應義塾大学理工学部応用化学科)

- OP95 **非水系における水溶性ビタミンE誘導体の自己組織化 —多価アルコールを含む三成分系の相状態—**
*相良俊典, 豊田直晃, 山口剛, 細見恵児, 洲崎真一, 澤田均 (日本メナード化粧品株式会社 総合研究所)
- OP96 **ジペプチド型界面活性剤エマルションの*in vitro*での皮膚透過性の検討**
*桑原 順子¹, 水口 勝誠² (1 福岡工業大学工学部生命環境化学科, 2 福岡工業大学大学院工学研究科生命環境化学専攻)
- OP97 **リン脂質アシル基組成がバイセル構造および薬剤浸透性に与える影響**
*桐山七美¹, 宮西真由子¹, 森俊裕¹, 小倉卓², 土屋好司², 酒井秀樹^{2, 3}, 吉田克典¹ (1 北里大学大学院薬学研究科薬科学専攻, 2 東京理科大学総合研究院, 3 東京理科大学創域理工学部先端化学科)

Session 4-1 Biotechnology

9/4 9:30~11:15 A会場

- SL05 **多機能型β-カロテン合成酵素の機能改変による希少カロテノイド生産への応用**
*渡邊研志, 橋間友亮, 秋 庸裕 (広島大学大学院統合生命科学研究科)
- OP98 ***Rhodotorula kratochvilovae* NBRC 0389由来 prostaglandin F_{2α} 9-dehydrogenaseの同定と機能解析**
*竹内道樹^{1,2}, 志野右京², 八木一樹², 山村栄虎³, 永野秀昭², 朴時範², 渡邊寛子², 安藤晃規², 上田誠², 小川順² (1 京都工芸繊維大学分子化学系, 2 京都大学大学院農学研究科, 3 キリンホールディングス株式会社)
- OP99 **紅藻由来cyclooxygenase および*Rhodotorula kratochvilovae* NBRC 0389 由来 prostaglandin F_{2α} 9-dehydrogenase を用いたPGF_{2α} 製造法の基盤技術確立に向けた研究**
*山村栄虎¹, 竹内道樹^{2,3}, 宗里啓², 永野秀昭², 朴時範², 渡邊寛子², 安藤晃規², 小川順² (1 キリンホールディングス株式会社, 2 京都大学大学院農学研究科, 3 京都工芸繊維大学分子化学系)
- OP100 **微生物由来における高選択性12-Lipoxygenase活性の発見とEPAからの12-HEPE生産**
岸野重信, *安道優仁, 谷津穂高, 小川順 (京都大学大学院農学研究科)
- OP101 **光酸化HOPGを基盤とした生体分子固定化界面の構築と機能評価**
*磯部亮太¹, 井上 豪^{1,2}, 浅原時泰^{1,2} (1 大阪大学大学院薬学研究科, 2 大阪大学先導的学際研究機構)
- OP102 **多機能性ニオソームを形成するジアシルグリセロールPEG付加物: 経皮浸透とトランスポーター誘導を介した二重機構型ビタミンC送達**
*三好達郎^{1,2}, Brian C. Keller¹, 光本(貝崎)明日香², 野部浩司² (1 ビバリーグレンラボラトリーズ株式会社, 2 昭和医科大学大学院 薬学研究科)

<ポスター発表>

9/5(コアタイム: 奇数番号14:00~15:00, 偶数番号15:00~16:00)

Session 1-3 Oleo materials and nanotechnologies

- PP01 **新規イオン液体含有ハイブリットゲルの開発**
*井村礼歩, 金子信裕, 河合功治 (ミヨシ油脂株式会社)
- PP02 **青色光を利用した環境低負荷型着色低減技術の開発と脂肪酸類への応用**
*菅原知紘 (旭化成株式会社 化学・プロセス研究所)
- PP03 **レバミピドナノ結晶を含むエマルゲル (乳化型PG/PVAゲル) の作成と口腔粘膜障害治療への応用**
*東里薫, 谷口雅弥, 伊藤心, 明上裕弥, 大竹裕子, 長井紀章 (近畿大学薬学部製剤学研究室)
- PP04 **ポリグリセリン系オイルゲル化剤が形成する結晶ネットワーク構造と天然由来ワックスの結晶構造への影響**
*高島岬, 村島健司 (阪本薬品工業株式会社研究所)

- PP05 **サンスクリーン剤試料を紫外線防御能 in vitro 測定法である ISO24443 法用のPMMA プレートに塗布した際の紫外線透過状態の可視化**
*黒田章裕¹, 朝倉浩一² (1 黒田総合技研株式会社, 2 慶應義塾大学理工学部)
- PP06 **ベヘン酸エステルによる天然由来ワックスゲルの改質効果**
*覚道紀子, 高島岬, 村島健司 (阪本薬品工業株式会社研究所)
- PP07 **乳化剤添加によるホイップクリームへの気泡と離水への影響**
*兵頭俊輔¹, 杉浦輝¹, 村井卓也¹, 伊藤喜子^{2,3}, 西野有里³, 宮澤淳夫³ (1 阪本薬品工業株式会社, 2 ライカマイクロシステムズ株式会社, 3 兵庫県立大学大学院理学研究科)
- PP08 **ポリグリセリン脂肪酸エステルによるチョコレートの粘度制御**
*杉浦輝, 根本和香那, 市邊愛佳, 村井卓也 (阪本薬品工業株式会社 研究所)
- PP09 **酸化亜鉛ヤヌス粒子担持薄膜の調製およびその濡れ性**
*磯野布実¹, 橋本和明², 柴田裕史² (1 千葉工業大学大学院工学研究科応用化学専攻, 2 千葉工業大学工学部応用化学科)
- PP10 **マグネタイト/シリカヤヌス粒子を用いた乳化-解乳化制御**
*田中蒼¹, 安川雪子², 橋本和明³, 柴田裕史³ (1 千葉工業大学大学院工学研究科応用化学専攻, 2 千葉工業大学工学部電気電子学科, 3 千葉工業大学工学部応用化学科)
- PP11 **酸化ニッケル-チタニア/シリカヤヌス粒子の調製およびその気泡形成能**
*上野裕汰¹, 橋本和明², 柴田裕史² (1 千葉工業大学大学院工学研究科応用化学専攻, 2 千葉工業大学工学部応用化学科)
- PP12 **オリゴエチレングリコール鎖をもつロタキサンによる分子シャトリング能の評価**
*永江晴翔¹, 山田祐輝¹, 関原智樹¹, 川野真太郎^{2,3}, 静間基博^{2,3}, 村岡雅弘² (1 大阪工業大学大学院 学研究科, 2 大阪工業大学工学部応用化学科, 3 大阪産業技術研究所 森之宮センター)
- PP13 **脂質 1 分子解析を指向したマイクロ抽出法**
*岡本行広¹, 麻野唱¹, 大城敬人² (1 大阪大学大学院基礎工学研究科, 2 大阪大学産業科学研究所)
- PP14 **ClO₂・光酸化による系中発生ホスゲンを利用したワンポットアミド合成法の開発**
*谷口玄汰¹, 板橋勇輝², 井上豪^{1,2}, 大久保敬^{2,3}, 浅原時泰^{1,2} (1 大阪大学大学院薬学研究科, 2 大阪大学先導的学際研究機構, 3 大阪大学CN 連携)
- PP15 **カルナウバロウ・ヒマワリ種子ロウ・コメヌカロウ混合系のオレオゲル形成挙動**
*石橋政晃, 坂本暖, 檜垣和里, 岡英未, 柴田雅史 (東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科)
- PP16 **担体上の金ナノ粒子をシードとした担持金ナノロッドの調製と触媒特性評価**
*三木優大¹, 伊村くら², 伊村芳郎¹ (1 東京理科大学大学院工学研究科工業化学専攻, 2 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
- PP17 **長鎖アミンを用いた金-銀ナノワイヤーの相間移動と濃度変化がもたらす抽出分離への影響**
*斉藤慎治¹, 重彰太¹, 伊村くら², 伊村芳郎¹ (1 東京理科大学大学院工学研究科工業化学専攻, 2 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科)
- PP18 **フッ素化ペプチド脂質を用いた構造安定化抗菌リボソームの開発**
*原史子¹, 渡辺雪那¹, 高田慎也¹, 吉川里依¹, 林紗希², 永尾寿浩³, 吉井未貴³, Marie Pierre Krafft⁴, 吉田都², 萩森政頼¹ (1 武庫川女子大学薬学部薬品分析学研究室, 2 臨床製剤学研究室, 3 大阪産業技術研究所森ノ宮センター, 4 Institut Charles Sadron (CNRS), University of Strasbourg)

Session 2-6 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

- PP19 **食用昆虫に含まれる機能性脂質成分とラットにおける脂質代謝改善作用**
*落合優¹, 高橋侑女¹, 城内文吾², 峰夏南¹, 鈴木喜博¹, 高橋辰行¹, 長竿淳¹ (1 北里大学獣医学部, 2 長崎県立大学看護栄養学部)
- PP20 **ホタテガイ *Patinopecten yessoensis* 卵巣のスフィンゴ糖脂質の化学構造解析**
*園田峻輔^{1,2}, 糸乗前², 杉田陸海², 大塩由季², 平田佳之³, 細見亮太¹, 福永健治¹ (1 関西大学化学生命工学部, 2 滋賀大学教育学部, 3 大阪医科薬科大学薬学部)
- PP21 **オイルリテンション性に優れる活性白土の検討**
*塚原大補, 福地溪杜 (水澤化学工業株式会社研究開発部)

- PP22 **ポリグリセリン脂肪酸エステルによるホイップクリームの起泡性と保形性の向上効果**
*村尾友紀, 豊島亮祐 (阪本薬品工業株式会社)
- PP23 **有機溶媒不用な遠心分離による過酸化物質等分析用油脂抽出法の即席めん・チョコレートへの適用**
*塩野忠彦, 金崎真悠, 大上真歩 (広島県立総合技術研究所食品工業技術センター)
- PP24 **植物油脂ブレンドによる代替クリームチーズの物性測定**
*李知穎¹, 松井徳成², 小泉晴比古¹, 上野聡¹ (1 広島大学大学院統合生命科学研究科, 2六甲バター(株))
- PP25 **ポリグリセリン脂肪酸エステルが各種デンプンの糊化挙動、ゲル物性に及ぼす影響**
*稲岡知和, 村井卓也 (阪本薬品工業株式会社)
- PP26 **部分水素添加油脂分析法の検討：部分水素添加スクワレンを指標として**
*飯田泰浩¹, 引田瑠里子¹, 梅澤正敏², 村川謙太郎³, 高木繁行¹, 深澤 透¹, 藤井栄子¹ (1 (公財)日本食品油脂検査協会, 2 ミヨシ油脂(株), 3 月島食品工業(株))
- PP27 **高脱色・高TPM 吸着・高脱酸能を有するシリカマグネシアの特性と応用の可能性**
*福地溪杜, 浅野剛志, 塚原大補 (水澤化学工業株式会社研究開発部)
- PP28 **小角中性子線散乱で解明したβ-カロテン含有タウルコール酸を主成分とする混合ミセルの構造に対するリゾホスファチジルコリンの影響**
*相澤秀樹 (摂南大学薬学部)
- PP29 **MCT油の薄膜乾燥における油負荷率が乾燥速度および表面油率に及ぼす影響**
*高重至成, 渡邊義之 (大阪公立大学大学院農学研究科)
- PP30 **毛髪表面脂肪酸18-MEAの反応熱分解GC-MSによる迅速分析**
*高木実優¹, 中野伊麻里¹, 後藤咲笑¹, 藤村紗愛¹, 福田容子¹, 石田康行¹, 渡辺 竜^{2,3} (1 中部大学応用生物学部, 2 フロンティア・ラボ株式会社, 3 東北大学大学院環境科学研究科)
- PP31 **α-エレオステアリン酸と抗がん剤の併用ががん細胞の生存率とフェロトーシス関連遺伝子発現に与える影響**
*本間太郎, 久保田凌芳, 北 加代子, 鈴木俊英 (帝京大学薬学部毒性学研究室)
- PP32 **発酵粕由来スフィンゴイド塩基の生産と皮膚保湿効果の評価**
*梶山由羽, 安部智子 (東京電機大学 理工学研究科 生命理工学専攻)
- PP33 **化学構造の異なるスフィンゴシンがヒト腸上皮細胞株Caco-2細胞の線維芽細胞増殖因子FGF19発現に及ぼす影響**
*内山萌子¹, 細見亮太², 福永健治², 杉本光輝¹ (1 東洋大学 食環境科学部 食環境科学科, 2 関西大学 化学生命工学部 生命生物工学科)
- PP34 **カルコン類の異性化特性と異性化に伴う物理化学的性質の変化**
*名古玲音¹, Asih Gayatri², 本田 真己^{1,2} (1 名城大学総合学術研究科, 2 名城大学理工学部化学教室)
- PP35 **構造の異なるカロテノイド類における熱異性化反応特性の解明 ―量子化学計算と実験的検証―**
*西村友希¹, 澤田和美², 中村涼², 中村健人², 本田康³, 本田真己¹ (1 名城大学総合学術研究科総合学術専攻, 2 ハリマ化成株式会社, 3 HPC システムズ株式会社)
- PP36 **柑橘類に含まれる各ポリフェノールによるブタ皮下脂肪前駆細胞の脂肪蓄積抑制効果の検証**
*澤谷秋馬¹, 新田夢依¹, 長田恭一² (1 明治大学大学院農学研究科, 2 明治大学農学部)
- PP37 **ラットにおける食事性酸化植物ステロールの肝臓重量に与える影響**
*口石美咲¹, 長田恭一² (1 明治大学大学院農学研究科, 2 明治大学農学部)
- PP38 **粉末 X 線回折法による液状化粧品の結晶相分析**
*中村理香子¹, 白田ひびき¹, 小池 裕也² (1 明治大学大学院理工学研究科, 2 明治大学理工学部)
- PP39 **起源および構成成分の異なる食餌性植物ステロールによる高脂肪食摂取ラットの脂質代謝への影響**
*野上明日香, 長田恭一 (明治大学大学院 農学研究科 農芸化学専攻)

- PP40 **ホップ抽出物を摂取した運動負荷マウスにおける肥満予防効果の検討**
*土屋歩夢, 長田恭一 (明治大学大学院農学研究科農芸化学専攻)
- PP41 **マウスにおける糖転移ルチンの脂質代謝および抗酸化機能に対する影響**
*緩詰比香¹, 長田恭一¹, 飯田聡史², 橋爪雄志², Tandia Mahamadou² (1 明治大学大学院農学研究科, 2 東洋精糖株式会社)

Session 3-6 Colloid and interface science, surfactant, detergent and cleaning

- PP42 **油/水界面に形成したモノレイン酸ジグリセリル膜の界面粘弾性周波数分散における非緩和弾性寄与の解析**
*山縣義文^{1, 2}, 新井田萌重¹, 三井美彩³, 吉田大介³, 酒井秀樹^{2, 4} (1 株式会社アントンパール・ジャパン, 2 東京理科大学総合研究院, 3 日光ケミカルズ株式会社, 4 東京理科大学創域理工学部)
- PP43 **両性界面活性剤を用いた金ナノ粒子の相間移動における添加剤の影響**
*石尾 真希, 伊村 くら (お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科)
- PP44 **親水部構造の異なる界面活性剤の組み合わせによるナノ粒子のゲル相抽出**
*嶋田真生, 伊村くら (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
- PP45 **コアセルベート形成におけるカチオン化ポリマー構造の影響**
*鶴見知昭¹, 田坂祐介² (1 サイエンスコ日華株式会社応用開発研究部, 2 三晶株式会社中央研究所)
- PP46 **グアーガム誘導体の添加による衣料用柔軟剤の機能向上**
*鶴見知昭¹, Evdokia K. Oikonomou², Jean-François Berret², Xiaofeng Chen³, Ivy Chu³ (1 サイエンスコ日華株式会社応用開発研究部, 2 Université de Paris, CNRS, Matière et Systèmes Complexes, 3 Syensqo (China) Co., Ltd.)
- PP47 **アミノ酸型界面活性剤と混合コサーファクタント系による会合体生成と効果**
*瀬尾慧¹, 藤井もえ², 竹石友紀², 児玉敬¹, 岡真佐人¹, 平和也¹, 福嶋一宏¹, 野依佐千子¹, 渡辺啓² (1 ロート製薬株式会社, 2 武庫川女子大学薬学部)
- PP48 **ゲルエマルションの安定化：油剤に求められる物理化学的性質**
*柴原わかな¹, 大杉春香¹, 酒井健一² (1 高級アルコール工業株式会社, 2 東京理科大学 創域理工学部 先端化学科)
- PP49 **コーヒー粕由来ホロセルロースナノファイバーとレクチン共存下で形成されるエマルションの構造観察と特性評価**
*満恵川彩¹, 樋口菜子¹, 金井典子², 川村出¹ (1 横浜国立大学大学院 理工学府, 2 横浜国立大学大学院 環境情報学府)
- PP50 **セルロースナノファイバーを使用したカシミアエッセンシャルオイルピッカリングエマルション含有シートの作成及び特性評価**
*樋口 菜子¹, 金井 典子², 筒井 瑞季³, 酒井 貴博³, 川村 出¹ (1 横浜国立大学大学院理工学府, 2 横浜国立大学大学院環境情報学府, 3 長谷川香料株式会社総合研究所)
- PP51 **低速攪拌法により測定したlog D_{ow}に基づく界面活性剤の疎水性と構造との関係**
*小黑かく, 篠崎裕哉, 近藤啓子, 櫻谷祐企 (独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- PP52 **分子動力学シミュレーションによるポリグリセロールモノラウレート吸着層の表面濃度依存性解析**
*岩崎航太郎^{1, 2}, 馬場廣海^{1, 2}, 松林伸幸¹ (1 大阪大学大学院基礎工学研究科, 2 マルホ株式会社データサイエンス部)
- PP53 **ラムノリビッド共存下におけるPOD／メディエーター反応系を用いた湿式人工汚染布の洗浄性**
*藤本明弘, 間みのり (宮崎大学)
- PP54 **イミダゾール系アミノ酸型界面活性剤の抗酸化能と乳化系における検討**
*稲垣陽翔, 山内そよ, 嶋田萌恵, 森本将行, 浅川雅, 太田明雄 (金沢大学大学院物質化学専攻)
- PP55 **グルタチオンを利用した芳香脱臭機能**
*柴田喬, 小林凜子, 森本将行, 浅川雅, 太田明雄 (金沢大学大学院自然科学研究科物質化学専攻)
- PP56 **ポリグリセリン系可溶化剤が形成するミセル構造の解析**
*前川丈武¹, 野々部瑛¹, 村島健司¹, 秋葉 勇² (1 阪本薬品工業株式会社 研究所, 2 北九州市立大学 国際環境工学部)

- PP57 **界面張力測定と個数計測による液面吸着微粒子の接触角評価**
*山口真叶, 松原弘樹 (広島大学先進理工系科学研究科化学プログラム)
- PP58 **界面活性剤混合吸着膜で働く分子間相互作用の強さが泡膜の安定性に与える影響**
*池尻朱音, 松原弘樹 (広島大学大学院先進理工系科学研究科化学プログラム)
- PP59 **泡沫分離による短鎖ペルフルオロカルボン酸の除去**
*仙波陸人, 林律希, 松岡圭介 (埼玉大学)
- PP60 **ブタの腎臓の脱細胞化のための界面活性剤の選択**
*山本雄貴¹, 松岡圭介¹, 浦橋泰然², 寺谷工³ (1 埼玉大学, 2埼玉医科大学総合医療センター, 3自治医科大学臨床研究センター)
- PP61 **水溶性高分子と親水性フュームドシリカとの混合により調製されたエマルジョンの特性に対する相乗効果**
*岡田尚之, 藤井義久, 鳥飼直也 (三重大学大学院工学研究科)
- PP62 **人工皮膚表面におけるトリグリセリドの摩擦ダイナミクス**
*赤池佳音, 野々村美宗 (山形大学大学院理工学研究科化学・バイオ工学専攻)
- PP63 **ワセリンを長期連用したヒト皮膚の摩擦ダイナミクス**
*佐々木起, 成澤琉希, 野々村美宗 (山形大学大学院理工学研究科化学・バイオ工学専攻)
- PP64 **イオン液体中でのフェロセン導入12-HSAのRedox応答性評価**
*高橋夢来, 大橋健太, 菅野裕理果, 櫻井瑠那, 木島龍朗 (国立大学法人山形大学大学院理工学研究科)
- PP65 **フェロセンを有するオリゴメリック型界面活性剤の合成と会合挙動**
*宇田隼太郎, 早坂颯真, 木島龍朗 (国立大学法人山形大学大学院理工学研究科)
- PP66 **脂肪酸カルシウム塩の選択的抗菌活性に関与する物理化学的特性**
*渡邊貴正, 山本義昭, 矢野成和, 野々村美宗 (山形大学大学院理工学研究科)
- PP67 **Bola 型フェロセン界面活性剤の粘性に対する有機塩の影響**
*山口夏奈未, 金谷莉佳, 茂原虎勢, 武田悠希, 神保雄次, 木島龍朗 (国立大学法人山形大学大学院理工学研究科)
- PP68 **多孔質粒子を用いた自発的乳化におけるピッカリングエマルジョン形成**
*江頭龍一, 服部暁, 通阪栄一 (山口大学大学院創成科学研究科)
- PP69 **カチオン性有機塩によるドデシル硫酸ナトリウムGibbs膜の高密度化と表面張力低下**
*酒井洋, 小林和博 (小山工業高等専門学校物質工学科)
- PP70 **ラメラ構造を有するクリーム剤が形成する塗布膜の構造評価**
*貴傳名祐希, 恒松希, 中村行雄, 宅見信哉 (小林製薬株式会社研究開発本部)
- PP71 **非イオン性界面活性剤の微細構造と粒子間相互作用の親水鎖長依存性**
*森谷大輝, 佐藤高彰 (信州大学繊維学部化学・材料学科)
- PP72 **水和状態を考慮した糖型界面活性剤水溶液の自己組織化構造解析**
*竹内暖, 佐藤高彰 (信州大学繊維学部)
- PP73 **エーテルカルボン酸型アニオン性界面活性剤を用いた両連続型マイクロエマルジョンの調製**
*平根 悠莉¹, オウ メイギョク², 濱野 浩佑³, 梅野 真帆³, 中村 泰司³, 杉崎 裕一¹, 山下 裕司^{1,2} (1 神奈川大学, 2神奈川大学大学院, 3三洋化成工業株式会社)
- PP74 **ポリグリセリン脂肪酸エステル/コレステロール/水系における液体秩序(L_o) 相の形成**
*石山大翔¹, グエン ゴック ヒエン², 大坪桃³, 杉崎裕一¹, 山下裕司^{1,2} (1 神奈川大学, 2 神奈川大学大学院, 3 第一三共ヘルスケア株式会社)

- PP75 **擬似微少重力環境下での乳化重合**
*可兒美侑¹, 鈴木雄飛², 杉崎裕一¹, 山下裕司^{1,2} (1 神奈川大学, 2 神奈川大学大学院)
- PP76 **非イオン性両親媒性物質を用いたセラミドのナノ粒子化とその三相乳化性**
*豊田香緒里, 宮坂佳那, 今井洋子, 御器谷友美, 田嶋和夫 (神奈川大学 三相乳化プロジェクト)
- PP77 **バイオディーゼル燃料系W/Oエマルションの安定化**
*大月春慶¹, 中込大翔², 杉崎裕一¹, 山下裕司^{1,2} (1 神奈川大学, 2 神奈川大学大学院)
- PP78 **水和水が非イオン性界面活性剤のミセル形成に与える影響**
*鳥居稜平¹, 橋本和明², 柴田裕史² (1 千葉工業大学大学院工学研究科応用化学専攻, 2 千葉工業大学工学部応用化学科)
- PP79 **アニオン分子／カチオン界面活性剤混合系のミセル形成における熱力学パラメータの導出および水和水の構造決定**
*福田純平¹, 橋本 和明², 柴田裕史² (1 千葉工業大学大学院工学研究科応用化学専攻, 2 千葉工業大学工学部応用化学科)
- PP80 **ラウロイルメチルアラニンの染色毛の褪色抑制効果：対イオンの毛髪への吸着挙動について**
*池奥駿介, 平沼健永, 菅波有人 (川研ファインケミカル株式会社部)
- PP81 **なめらかさと保形性に優れた新規エマルションゲルの開発**
*金子信裕, 井村礼歩, 河合功治 (ミヨシ油脂株式会社)
- PP82 **セラミド・脂肪酸・コレステロール混合薄膜と薬物の相互作用**
*細川綾香¹, 荒川京介¹, 土屋好司¹, 酒井秀樹^{1,2}, 酒井健一^{1,2} (1 東京理科大学 創域理工学部 先端化学科, 2 東京理科大学 総合研究機構 総合研究院)
- PP83 **ポリエーテル変性シリコンのシリカ表面に対する吸脱着挙動の評価**
*下村二葉¹, 荒川京介¹, 酒井秀樹^{1,2}, 酒井健一^{1,2} (1 東理大 創域理工, 2 東理大 総研)
- PP84 **光応答性ジェミニ型カチオン界面活性剤を用いた泡沫の可逆的光制御**
*山口和樹¹, 近藤行成², 矢田詩歩² (1 東京理科大学大学院 工学研究科, 2 東京理科大学 工学部工業化学科)
- PP85 **疎水性基板上で蒸発する水-水溶性有機溶媒混合液滴における固液界面の挙動**
*長野 陽斗, 石田 尚之 (同志社大学大学院理工学研究科応用化学専攻)
- PP86 **有機溶媒中での微粒子界面における溶媒分子挙動の溶媒緩和NMR 法による評価と微粒子分散**
*犬塚温, 石田尚之 (同志社大学大学院理工学研究科応用化学専攻)
- PP87 **高濃度イオン共存下での高誘電率有機溶媒中におけるシリカ表面間相互作用力のAFM 直接測定**
*高橋美遥, 石田尚之 (同志社大学大学院応用化学専攻)
- PP88 **バイオサーファクタント・ソホロースリピッドの起泡挙動と泡膜構造**
*木村 菜津樹¹, 脇坂 都², 尾田 友香², 平田 善彦², 河合 里紗¹, 吉村 倫一¹ (1 奈良女子大学大学院, 2 サラヤ株式会社サラヤ総合研究所)
- PP89 **イヌリンとポリクオタニウム-7 の併用による起泡性向上と泡物性の変化**
*岩崎和弘¹, 西陽司², 堀越俊雄², 寺本健太郎², 大森隆司², 矢田詩歩³, 近藤行成³, 勝間田祐貴¹ (1 日本精化株式会社 香粧品研究開発第2部, 2 株式会社マツモト交商 価値創造本部, 3 東京理科大学 工学部工業化学科)
- PP90 **クリームの使用感触の評価法研究 ～レオロジー特性比較とゲル/ゾル転移挙動の解析～**
*小松結音, 竹石友紀, 渡辺啓 (武庫川女子大学大学院 薬学研究科)
- PP91 **香料のナノエマルション化による高濃度化 ～可溶化領域との関係について～**
*阪本 七海, 井下 詩織, 竹石 友紀, 渡辺 啓 (武庫川女子大学大学院 薬学研究科)
- PP92 **低いクラフト点を有する脂肪酸アルギニン塩系における自己組織化構造の制御と起泡・洗浄特性への影響**
*高見理沙, 竹石友紀, 渡辺啓 (武庫川女子大学大学院 薬学研究科)

- PP93 **香り成分の化学構造が界面活性剤溶液における挙動に及ぼす影響 -可溶化傾向とナノエマルション領域の関係-**
*井下詩織, 阪本七海, 竹石友紀, 渡辺啓 (武庫川女子大学大学院薬学研究科)
- PP94 **Development of Chitosan/gelatin Hybrid Microspheres for Al³⁺ Controlled-release System**
*Zhaotai Peng¹ and Junko Kuwahara² (1 Department of Life, Environment, and Applied Chemistry, Graduate School of Engineering, Fukuoka Institute of Technology, 2 Department of Life and Environmental Chemistry, Faculty of Engineering, Fukuoka Institute of Technology)
- PP95 **バイセルの表面電荷が薬剤浸透性に与える影響**
*赤川竜基, 桐山七美, 宮西真由子, 森俊裕, 吉田克典 (北里大学大学院薬学研究科薬科学専攻)
- PP96 **ベタイン系界面活性剤および有機塩を用いたひも状ミセル溶液の物性調査 -カチオン性界面活性剤 C16TABとの比較-**
*佐口絵梨佳, 多賀圭次郎, 山本靖, 森敦子 (名古屋工業大学大学院工学研究科)
- PP97 **ソルビタン系界面活性剤を用いた有機溶媒のゲル化効果**
*杉浦雅崇, 高比良安珠, 多賀圭次郎, 山本靖, 小幡亜希子, 岩田修一 (名古屋工業大学大学院工学研究科)
- PP98 **直鎖アルキル基修飾シリカナノ粒子を含むビス(2-エチルヘキシル)スルホコハク酸ナトリウム水溶液の臨界ミセル濃度と泡沫特性の関係**
*中原佳夫¹, 谷口龍之介¹, 青野恵太², 矢嶋摂子¹ (1 和歌山大学システム工学部, 2 花王株式会社)

Session 4-2 Biotechnology

- PP99 **固形発酵法を用いた果実搾汁残渣からの高付加価値油脂の生産**
*太瑞怡, 渡邊研志, 秋庸裕 (広島大院・統合生命科学)
- PP100 **機能性グルクロン酸誘導体の全合成**
*永井亜胡, 安部真人 (愛媛大学農学研究科生命機能学専攻)
- PP101 **高度不飽和脂肪酸と高度不飽和脂質の全合成**
*西原歩夢, 安部真人 (愛媛大学農学研究科)
- PP102 **多価不飽和脂肪酸含有リン脂質の全合成**
*渡邊歩空, 安部真人 (愛媛大学農学部生命機能学科)
- PP103 **リン脂質の立体異性体の全合成**
*安部真人 (愛媛大学農学部生命機能学科)
- PP104 ***Streptomyces griseus* のホスホリパーゼC様遺伝子の解析**
*伊藤花果, 岩崎雄吾 (中部大学大学院 応用生物学研究科)
- PP105 **ホスホリパーゼDを用いたジヒドロセラミドのリン脂質化**
*関口友哉, 岩崎雄吾 (中部大学大学院 応用生物学研究科)
- PP106 **新規ホスファチジン酸特異的ホスファターゼ候補遺伝子の解析**
*大野真優, 岩崎雄吾 (中部大学大学院 応用生物学研究科)
- PP107 **エーテル脂質分解酵素遺伝子の解析**
*杉江茉旺, 岩崎雄吾 (中部大学大学院 応用生物学研究科)
- PP108 **スフィンゴミエリナーゼの生産と利用**
*加納敬介, 岩崎雄吾 (中部大学大学院応用生物学研究科)
- PP109 **リン脂質担持グラフェン上におけるGroELのチューブ状連結挙動とクライオ電顕解析**
*鑑水星奈¹, 有田奏人¹, 井上豪^{1, 2}, 浅原時泰^{1, 2} (1 大阪大学大学院薬学研究科, 2 大阪大学先導的学際研究機構)
- PP110 **二酸化塩素光酸化改質法を利用したポリ乳酸 (PLA) 樹脂表面へのカルボキシ基導入と細胞親和性の付与**
*大塚奈々¹, 西口昭広², 田口哲志², 井上豪^{1, 3}, 浅原時泰^{1, 3} (1 大阪大学大学院薬学研究科, 2 国立研究開発法人物質・材料研究機構, 3 大阪大学先導的学際研究機構)

4. 参加申し込み

参加登録費は以下の通りです。**早期割引は7月31日（金）まで。**
講演要旨集は、8月18日（火）web公開され、閲覧とダウンロードが可能です。冊子体は国会図書館・事務局での保存のみとなります。

Registration categories	Early-bird registration April 12 ~ July 31	Regular registration August 2 ~	課税区分
日本油化学会正会員	11,000 Yen	16,000 Yen	不課税
日本油化学会法人会員	12,000 Yen	18,000 Yen	不課税
日本油化学会学生会員	3,000 Yen	5,000 Yen	不課税
名誉会員・65歳以上の正会員	無料招待	無料招待	不課税
会員外（学生以外）	22,000 Yen	29,000 Yen	課税・税込み
会員外（学生）	4,000 Yen	5,000 Yen	課税・税込み
年会参加者の配偶者	6,000 Yen	8,000 Yen	課税・税込み

懇親会は以下の通りです。

日 時： 9/4（金）18:30～20:30
会 場： グランドプリンスホテル広島
参加費： 懇親会費は以下の通りです。

Registration categories	Early-bird registration April 12 ~ July 31	Regular registration August 2 ~
学生以外	10,000 Yen（不課税）	16,000 Yen（課税・税込み）
学生	無料招待	5,000 Yen（課税・税込み）

早割期間中に懇親会に申し込んだ学生さんを無料招待とします。
企業の皆さんとお話できる絶好のチャンスです！
支払ってしまった方へは返金しますのでご安心ください。

第64回年会実行委員会

- ・実行委員長 上野 聡（広島大学）
- ・学会事務局 金子 行裕（(公社)日本油化学会）
- ・現地実行委員

秋 庸裕（広島大学）	宇山 允人（産総研(AIST)中国）	小泉 晴比古（広島大学）
塩田 誠（安田女子大学）	松原 弘樹（広島大学）	渡邊 研志（広島大学）
渡邊 義之（大阪公立大学）	渡辺 嘉（大阪産業技術研究所）	
- ・アドバイザー

第63回日本油化学会年会実行委員長	酒井 俊郎（信州大学）
-------------------	-------------
- ・プログラム実行委員

宇山 允人（産総研(AIST)中国）	織田 政紀（日本ロレアル(株)）	柿澤 恭史（ライオン(株)）
加藤 俊治（東北大学）	河合 里紗（奈良女子大学）	岸野 重信（京都大学）
小泉 晴比古（広島大学）	纈纈 守（岐阜大学）	紺野 義一（株式会社コーセー）
酒井 俊郎（信州大学）	佐藤 博文（大阪産業技術研究所）	菅原 達也（京都大学）
永井 利治（東京工科大学）	永尾 寿浩（大阪産業技術研究所）	仲川 清隆（東北大学）
伴野 太祐（慶應義塾大学）	細川 雅史（北海道大学）	矢田 詩歩（東京理科大学）
山下 裕司（神奈川大学）	吉田 裕治（第一工業製薬(株)）	渡辺 啓（武庫川女子大学）
渡邊 義之（大阪公立大学）		
- ・Select Lectures 選考委員

神戸 慎哉（東亜合成(株)）	纈纈 守（岐阜大学）	佐々木 麻紀子（東京家政学院大学）
徳留 嘉寛（佐賀大学）	永井 利治（東京工科大学）	伴野 太祐（慶應義塾大学）

